つきまとい被害に関する実態調査

調査の目的

ストーカー規制法の制定から、はや 20 年以上が経った。この 20 年の間に、インターネットや携帯電話・スマートフォンが普及し、情報環境・テクノロジー環境は大きく変化している。それに伴い、つきまといや嫌がらせ行為の手段も多様化している。例えば、SNS を用いた嫌がらせや、GPS 端末を利用したつきまとい行為などの事例が、国会でも取り沙汰されている。

ストーカー規制法は、三度の改正（平成25年、平成28年、令和3年）が行われてきた。平成 28 年に改正されたストーカー規制法では、SNS 上での送信については部分的に対応が図られている。しかし、上記の行為のなかには、現在の法律では規制が難しいケースもある。また、恋愛感情に限らないつきまとい行為の相談も、多く見受けられているのが実状である。

しかし、現在の法律は、「特定の者に対する恋愛感情その他の好意の感情又はそれが満たされなかったことに対する怨恨の感情を充足する目的」（感情要件）で、「当該特定の者又は配偶者、直系若しくは同居の親族その他当該特定の者と社会生活において密接な関係を有する者に対して」おこなう（関係要件）、特定の行為（手段要件）を規制している。すなわち、「感情要件」・「関係要件」・「手段要件」の全てを満たせばストーカー規制法の対象、いずれか1つでも満たされなければ対象外となる。

それゆえ、恋愛感情に基づかない、例えば怨恨などによるつきまとい行為は、規制の対象に含まれていない。また、SNS 上の知り合い、職場や学校の関係者、恋人の恋人などからのつきまといや嫌がらせ、あるいは執拗なカスタマーハラスメントなど、既存のストーカー規制法では対応が困難な事例とされてきた。手段についても、かつては SNS 上での DM によるつきまとい行為は規制対象には含まれず、令和 3 年の法改正までは、手紙や GPS によるつきまといも違法とはされていなかった。

それにもかかわらず、こうした被害の実態は、既存の調査では捉えづらく、明らかになっているとはいえない。時代や環境の変化に合わせて法律を改正するためにも、つきまとい被害に苦しむ人たちが、暮らし・活動を制限されることのない、安心安全な社会を目指すためにも、被害の実態を把握することが不可欠である。以上の問題意識から、「ストップ！つきまといプロジェクト」調査チームは、つきまとい被害の正確な現状把握に向けた足掛かりとして、「つきまとい被害に関する実態調査」を実施した。

本報告書では、「つきまとい被害に関する実態調査」に基づく分析結果を要約・提示する。なお本調査はモニターサンプルを用いたインターネット調査であるため、その分析結果は代表性のあるサンプルに基づくものではない点に留意する必要がある。本調査と同様に、つきまとい被害などについてたずねた調査として、内閣府男女共同参画局が実施する「男女間における暴力に関する調査」がある。この調査は3年におきに、全国 20 歳以上の男女 5,000 人を対象に層化 2 段無作為抽出法にもとづく郵送留置訪問回収法を用いて、実施されている。日本社会におけるつきまとい被害経験率の推定などに関しては、内閣府調査の有効性が高いと考えられる。

他方で、本調査は内閣府の調査と比べ、次のような利点をもっている。（1）従来のストーカー規正法に含まれる被害に加えて、令和 3 年の改正で新たに規制の対象となった被害（手紙の送付・GPS 端末の設置）、そして、現在の法律に含まれない新たな被害（SNS などを用いた嫌がらせ）についてもたずねている点、（2）被害経験ごとに加害者との関係や期間などをたずねている点、（3）被害後の対応や社会的な取り組みの要望について、より詳細な情報を得ている点、などが挙げられる。こうした点を踏まえれば、ランダムサンプリングの調査ではないものの、本調査から得られた知見は、日本社会におけるつきまとい被害の経験、被害への対応などの内実について、多くの示唆を与えてくれるだろう。

調査の概要

本調査は、2020 年 12 月～2021 年 1 月にかけて東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の 20～59 歳の男女を対象に、調査会社(GMO リサーチ)を通じて実施した。まず都県ごとに性別・年代ごとに人口分布に比例する形で目標サンプルを割り付け、登録モニター158,092 人に調査への参加を依頼し（アタック件数）、目標サンプル 9,000 人に達するまでスクリーニング調査を実施した。その後、調査の参加についての注意事項に同意した回答者のみが、問 12（被害経験）以降に回答し、該当者のみが問 13 以降に回答した。問 12 は、C、E、G を除いた被害項目のうち少なくとも 1 つについて、1 人以上から受けたと回答した者を該当者とした。その他の分岐項目については、末尾の調査票を参照してほしい。

目標サンプルごとの回収数や回答者の基本属性などについては、末尾にまとめている。本報告書では、スクリーニング調査を含むサンプル数のうち、サティスファイス回答者を除き同意項目に同意したサンプル 6706 人、また問 13 以降に回答したサンプル 1,821 人を主な分析対象として用いた。

被害経験の概観

本調査では、望まない面会やつきまといなど、ストーカー規正法の対象となる被害（A、B、F、J、K、L、M、O、P、Q）に加えて、SNS を用いた被害や、望まない手紙や贈り物の送付など、といった従来の規正法の対象外となる被害（C、D、E、G、H、I、N）について、被害経験の有無の回答を得ている。なお、本報告書で使用する「従来の規制法」は、令和 3 年の法改正を含まないものとする。上記の被害の区分は、本調査チームが、事前のヒアリングやストーカー規制法に詳しい弁護士など専門家の意見に基づいて設定したものである。法律上のコンセンサスではない可能性や運用において揺らぐ可能性なども考えうるが、本報告書ではこれらの区分を前提として議論することとしたい。

これらの被害について聞いた質問項目（Q12）では、複数人の相手から被害を受ける可能性も考慮し、「なし」「１人から」「２人から」「３人以上から」を選択肢に入れたずねている。以下では特定の被害を 1 人以上から受けた経験がある人を「あり」、その被害を受けた経験がない人を「なし」とカウントし、度数と全調査対象者に占める割合を集計した（表 1）。

具体的な被害の項目は，以下の通りである。カッコ内は、分析結果などを提示する際に使用する省略した項目名である。

A. 望まない面会や交際の執拗な要求（面会や交際の要求）
B. つきまとい、待ち伏せ、押し掛け、うろつき（つきまとい・待伏等）
C. 知らない人に数十メートル以上ついてこられた（数十ｍ以上の尾行）
D. インターネット上で個人情報を特定される（ネット上の個人情報）
E. 特定の個人から SNS 等に不正ログインされる（SNS 等の不正ログイン）
F. 監視していると告げられる（監視を告げられる）
G. 度を越えた指摘やクレームを受ける（指摘・クレーム）
H. 無断で GPS 端末を設置される、位置情報共有・追跡アプリをインストールされる（無断の GPS 等の設置）
I. 探偵・興信所などを利用して身辺調査される（探偵等の身辺調査）
J. 繰り返し乱暴な言動を受ける（乱暴な言動）
K. 連続した嫌がらせの電話・ファックス・電子メールなどの送信（電話・メール等）
L. SNS を通じた嫌がらせのメッセージの送信（DM やメッセージアプリなども含む）（SNS 上のメッセージ）
M. SNS を通じた嫌がらせのコメントの投稿（リプライなども含む）（SNS 上のコメント）
N. 望まない手紙や贈り物の送付（手紙や贈り物の送付）
O. 汚物などの送付（汚物などの送付）
P. あなたの名誉を害することを告げる行為（名誉を害する行為）
Q. 性的羞恥心の侵害（猥褻な文書や画像を繰り返し送信される、自らの性的な画像を同意なく発信されるなど）（性的羞恥心の侵害）
R. その他（その他）

全調査対象者における被害経験率（表 1）を確認すると、「面会や交際の要求」（14.3%）、「つきまとい・待伏等」（14.0%）、「数十 m 以上の尾行」（11.6%）、「指摘・クレーム」（10.5%）といった被害を経験している者が多い。「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」は、現在のストーカー規正法に含まれる行為である一方で、「数十 m 以上の尾行」、「指摘・クレーム」は、現行法では明確に規定されていない。

現在のストーカー規制法に含まれないその他の被害を経験している調査対象者も存在する。例えば、「無断の GPS 等の設置」（1.3%）、「探偵等の身辺調査」（1.9%）、「手紙

や贈り物の送付」（7.4%）などの被害を受けた者が確認された。

また、SNS などネット上の被害について、いずれかの項目を少なくとも 1 つ以上経験した人を集計すると、全調査対象者のうちおよそ 9%が経験していることがわかった（表は省略）。被害項目ごとに被害経験率を確認すると、現行法の対象に含まれる「SNS 上のメッセージ」（4.6%）、「SNS 上のコメント」（4.2%）に対して、対象に含まれない被害では、「ネット上の個人情報」（4.2%）、「SNS 等の不正ログイン」（3.6%）であった。

次に、被害経験率を男女別に集計した（表 2）。「どの被害も経験なし」の割合は、男性 75.1%、女性 60.7%であり、全体として、男性よりも女性の方がつきまとい被害を経験していることがわかった。「面会や交際の要求」（19.2%）、「つきまとい・待伏等」（19.5%）、「数十 m 以上の尾行」（18.2%）、「手紙や贈り物の送付」（9.9%）の被害経験率は女性の方が高くなっている。その一方で、「指摘・クレーム」やネット上での被害（「ネット上の個人情報」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」）は男女で比べても大きな差はみられない。

ここまでの結果をまとめると、次のようなことがわかった。

第一に、現在のつきまとい被害において、従来の規制法に含まれる被害を受けた人が多くみられることがわかった。しかし、「数十 m 以上の尾行」、「ネット上の個人情報」、「SNS 等の不正ログイン」、「指摘・クレーム」、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「手紙や贈り物の送付」といった、従来の規制法の範囲外にある被害も一定程度生じていることが示された。

第二に、情報環境・テクノロジー環境の変化がみられる中においても、インターネットを介したつきまとい・嫌がらせ行為を受けた者の割合は全体の一部であり、依然として執拗な面会・交際の要求や望まない手紙・贈り物など、オフラインでの被害を受けた者の割合が多くを占めている。

第三に、全体として、男性よりも女性の方がつきまとい被害を経験していることがわかった。被害項目ごとにみていくと、面会や交際の要求などオフラインでの被害を受けている者は女性に多い一方で、SNS や GPS 設置などの被害は男性にも見られる。

どのような被害項目が「被害」とみなされやすいのか

内閣府が実施した「男女間における暴力に関する調査」では、「あなたはこれまでに、ある特定の相手から執拗なつきまといや待ち伏せ、面会・交際の要求、無言電話や連続した電話・電子メールの送信や SNS・ブログ等への書き込みなどの被害にあったことがありますか。」という質問について「はい」と回答した人だけを対象に、具体的にどの被害項目を経験したかをたずねる形式となっている。これに対して本調査では、「あなたはこれまでに、（知人や見知らぬ人を含む）ある特定の相手から、つきまとわれたり、追い回されたり、嫌がらせを受けたりするなどの被害・迷惑行為を受けたことがありますか。」（Q10）と質問した上で、その回答に関係なく、（アンケートへの回答に同意した）回答者全てに被害項目別の経験の有無をたずねる形式をとっている。

このような質問形式をもつ Q10 と Q12 の回答を比較することで、どのような被害を受けた回答者が、自分自身の被害を「つきまとわれたり、追い回されたり、嫌がらせを受けたりするなどの被害・迷惑行為」として認知しているかを確認することができる。

Q12 で項目別に当該被害を報告した回答において、Q10 で被害経験ありを選択する割合を集計した（表 3）。仮にこの割合を一致率と呼ぶとすれば、最も一致率が高い項目は、「つきまとい・待伏等」（78.6%）である。それ以外の項目については、回答が多い順に（その他を除く）、「性的羞恥心の侵害」（77.9%）、「監視を告げられる」（77.3%）、「無断の GPS 等の設置」（77.3%）、「電話・メール等」（72.9%）、「汚物などの送付」（72.2%）、「ネット上の個人情報」（70.7%）、「面会や交際の要求」（68.9%）、「SNS 上のメッセージ」（68.8%）、「SNS 上のコメント」（67.3%）、「名誉を害する行為」（66.8%）、「探偵等の身辺調査」（66.7%）、「手紙や贈り物の送付」（66.1%）、「乱暴な言動」（62.5%）、「数十 m 以上の尾行」（61.7%）、「SNS 等の不正ログイン」（57.4%）、「指摘・クレーム」（56.4%）、となっている。

従来の規制法の対象となる項目はおおむね一致率が高くなっている。ただし、「面会や交際の要求」、「乱暴な言動」、「名誉を害する行為」などの一致率はやや低く、他の項目に比べると、自分自身の被害を「つきまとわれたり、追い回されたり、嫌がらせを受けたりするなどの被害・迷惑行為」としては認知しづらいといえる。他方で、従来の規制法の対象とならない項目に関しては、「数十 m 以上の尾行」、「SNS 等の不正ログイン」、「指摘・クレーム」などの一致率が低い一方で、「無断の GPS 等の設置」や「ネット上の個人情報」の一致率は高くなっている。これらの項目は、規制の対象外であるものの、被害を受けた者において当該行為が「つきまとい被害」や「迷惑行為」として認知されやすいことを示している。

全く同じ質問文ではなく、前述のように調査対象者も異なるため、厳密な比較とは言えないが、以上の結果は、具体的な被害項目を用いずに被害経験をたずねた場合、つきまとい被害の経験率を過小評価してしまう可能性を示唆する。すなわち、最初につきまとい被害の経験があるかどうかをたずね、その後被害を経験した回答者のみに具体的な被害をたずねた場合に、一部の回答者が自分自身の被害経験を「ある特定の相手から執拗なつきまといや待ち伏せ、面会・交際の要求、無言電話や連続した電話・電子メールの送信やＳＮＳ・ブログ等への書き込みなどの被害」に当てはまらないと判断してしまい、正確な被害経験率を把握できない恐れがある。そのため、「男女間における暴力に関する調査」における被害経験率は、母集団の真の値というよりも、被害経験率の下限としてみなす方が適切であると考えられる。以上の点を踏まえると、本調査の結果は、何らかの被害は受けているものの、従来の質問形式では捉えることが難しかったつきまとい被害をより多くすくい上げることができたといえる。

被害の開始時期

Q13 では、特定の被害を受けた経験がどの時期から開始したかを集計した（表 1）。

まず、全調査対象者内で集計した。集計の結果、全調査対象者のうち、0.4-1.5%が 2019 年以降に特定の被害を経験し、0.1-0.7%が 2020 年以降に特定の被害を経験している。また、いずれかの被害を経験している回答者の割合は、2019 年以降で 4.7%、2020 年以降で 2.7%となっている。

次に分母を全調査対象者から当該被害経験者に変更して集計した。集計の結果、それぞれの被害項目を経験していると回答した者のうち、9.7-50.0%が 2019 年以降に特定の被害を経験し、4.4-20.5%が 2020 年以降に特定の被害を経験している。この値は、特定の被害を経験している回答者のうち、2019 年以降/2020 年以降に被害が開始している回答者の割合を示している。それゆえ、各被害項目が相対的に新しい被害かどうかを確認することができる。

例えば「面会や交際の要求」や「つきまとい・待伏等」と比較して、そのほかの被害は 2019 年以降に開始する事例が多いといえる。被害経験率自体の多寡も考慮する必要はあるが、ネット上での被害（D、L、M）、「GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「性的羞恥心の侵害」は 2019 年以降/2020 年以降に生じている割合が大きい。ただし、各被害が増加傾向にあるかどうかまで検証するためには、適切な方法での継続的なデータ収集が必要である。

被害の継続期間

Q14 では、特定の被害（A、B、H、I、L、M のみ）ごとに、最も長く続いたものの継続期間をたずねた（表 4）。集計の結果、「面会や交際の要求」は平均 5.92 ヶ月、中央値 3 ヶ月、「つきまとい・待伏等」は平均 6.61 ヶ月、中央値３ヶ月と、決して短いとはいえない期間にわたってオフラインでの被害が生じていることがわかった。SNS 上での被害については、「SNS 上のメッセージ」は平均 6.07 ヶ月、中央値 3 ヶ月と被害期間が長く、それに比べるとやや短いものの「SNS 上のコメント」は平均 5.33 ヶ月、中央値 2 ヶ月にわたって被害を受けていることがわかった。このことは、比較的短期間に被害が収束すると想定されるネット上での被害についても、従来のつきまとい被害と遜色ないほどに、継続的な被害が生じていることを示している。加えて、「無断の GPS 等の設置」は平均 4.95 ヶ月で中央値 3 ヶ月、「探偵等の身辺調査」は平均 3.54 ヶ月、中央値は 1 ヶ月であった。これらの結果は、種類を問わず、つきまとい被害が数ヶ月単位で継続しており、被害者は解決の道筋が見えにくい負荷を中長期的に経験していることが見て取れる。

項目別の被害経験の重なり

つきまとい等の被害を受けた人の中に複数の種類の被害を受けている人がいることは想像に難くない。このことを把握するべく、経験した被害項目間の重なりに関して集計した。特に、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「手紙や贈り物の送付」といった従来のストーカー規制法の対象に含まれない被害を受けた個人や、「ネット上の個人情報」、「SNS 等の不正ログイン」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」といったネット上の被害を受けた個人が、従来の規正法の対象に含まれる、オフラインでの被害（「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」など）を経験しているかどうかを検討した。

集計の結果、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「手紙や贈り物の送付」の被害を受けた者の 6-8 割は、「面会や交際の要求」や「つきまとい・待伏等」の被害を経験していることが確認できる。例えば表 5 から、スクリーニング調査対象者のうち、0.19%が「無断の GPS 等の設置」の被害を受けている一方で「面会や交際の要求」の被害を受けていない。そして、1.12%が「無断の GPS 等の設置」と「面会や交際の要求」のどちらの被害も受けていることが確認できる。ここから、「無断の GPS 等の設置」の被害を受けた者の内 85.2%が、「面会や交際の要求」の被害を受けていると考えられる。

一方で、スクリーニング調査対象者のうち、13.21%は「面会や交際の要求」の被害を受けている一方で「無断の GPS 等の設置」の被害を受けていない。すなわち、「面会や交際の要求」の被害を受けた者の内 7.8%が「無断の GPS 等の設置」の被害を受けているといえる。このことをベン図で表現すると、図 1 のようになる。

他の項目に関して表 5 および表 6 を確認すると、「探偵等の身辺調査」の被害を受けた者の内 74.6%、「手紙や贈り物の送付」の被害を受けた者の内 70.7%が、「面会や交際の要求」の被害を受けており、「無断の GPS 等の設置」の被害を受けた者の内 89.8%が、「探偵等の身辺調査」の被害を受けた者の内 71.4%が、「手紙や贈り物の送付」の被害を受けた者の内 67.9%が、「つきまとい・待伏等」の被害を受けていることが確認できる。

「面会や交際の要求」の被害を受けている者の内、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「手紙や贈り物の送付」の被害を経験している割合は、それぞれ 7.8%（再掲）、9.8%、36.7%、「つきまとい・待伏等」に関しては、それぞれ 8.4%、9.6%、36.1%であった。

さらに、ネット上の被害についての集計結果からも、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「手紙や贈り物の送付」ほど顕著ではないものの、被害の重なりが見て取れる。実際、「ネット上の個人情報」、「SNS 等の不正ログイン」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」の被害を受けた者の内、5-6 割が、「面会や交際の要求」や「つきまとい・待伏等」の被害を経験している（詳細な数字については表 5 および表 6 を参照）。また、「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」の被害から見ると、それらの被害を受けた者の内 1-2 割がネット上の被害も受けていることが確認できた。

以上の結果は、「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」の被害に遭った者が、従来のストーカー規正法のもとでそれらの被害に対処できたとしても、例えばそのうち 36%は「手紙や贈り物の送付」の被害を受け続けるかもしれないことを示す。また、「無断の GPS 等の設置」や「探偵等の身辺調査」の被害を経験している者の多くは、「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」の被害を受け、暮らしや活動を強く制限されていることが予想される。「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」の被害を受けた者のうち 1-2 割はネット上の被害も受けており、オンライン上の活動も制限されているかもしれない。もちろん上記の被害が、同一の加害者による被害や同時期に受けた被害であるとは限らない。この点については、より詳細に被害の実態を調査していく必要があるだろう。とはいえ、上記の集計結果は、社会のなかで少なくない数の人々が複数の被害に苦しめられている現状を示しており、早急な対処が必要になることは明らかである。

加害相手との関係

Q15 では、被害を受けた加害者との関係についてたずねている。被害項目ごとに加害者との関係を集計した（表 7 および表 8）。

まず、「面会や交際の要求」、「つきまとい、待伏等」、「監視を告げられる」被害に関して、加害者との関係を整理する。

「面会や交際の要求」について、交際相手・元交際相手や、学校・職場・アルバイト先の関係者から被害を受けた者の割合が高い。実際、「面会や交際の要求」の被害を受けた者のうち、26.4%は交際相手・元交際相手から、24.2%は職場やアルバイト先の関係者から、17.5%は通っていた学校や大学の関係者から被害を受けている。また、被害を経験した者の内 24.8%は、特に関係性が薄いと考えられる「まったく知らない相手」、「SNS などで知り合った人」、「職場やアルバイト先の客」の少なくとも一人以上から被害を受けた経験があると回答している。

「つきまとい、待伏等」についても同様に、交際相手・元交際相手や学校・職場・アルバイト先の関係者から被害を受けた者の割合が高い。「つきまとい、待伏等」の被害を受けた者のうち、21.8%は交際相手・元交際相手から、18.5%は職場やアルバイト先の関係者から、16.2%は通っていた学校や大学の関係者から被害を受けている。加えて、まったく知らない相手から被害を受けた者の割合も高く、20.3%の被害経験者が、まったく知らない相手から「つきまとい、待ち伏せ、押し掛け、うろつき」の被害を受けていた。また、関係性が薄いと考えられる「まったく知らない相手」、「SNS などで知り合った人」、「職場やアルバイト先の客」から被害を受けた経験があると回答した者の割合を集計したところ、当該被害を経験した者の内、35.7%を占めている。

さらに「監視を告げられる」行為についても、交際相手・元交際相手や職場・アルバイト先の関係者、関係性の薄い相手から被害を受けた者の割合が高い。集計の結果、20.5%が交際相手・元交際相手から、17.5%がまったく知らない相手から、14.4%が知っているかどうかもわからない相手から、14.0%が職場やアルバイト先の関係者から、14.0%が SNS などで知り合った人から、被害を受けていたことがわかった。

つづいて、インターネットや SNS 上の被害に関しては一貫して、SNS などで知り合った人や知らない相手・知っているかどうかもわからない相手から被害を受けた者の割合が高い。また、交際相手・元交際相手や学校・職場・アルバイト先の関係者から被害を受けた者も一定数みられる。

「ネット上の個人情報」について、SNS などで知り合った人や知らない相手から被害を受けた者の割合が高い。インターネット上で個人情報を特定された被害にあった回答者のうち、20.8%は「知っているかどうかもわからない相手」から、20.8%は「SNS などで知り合った人」から、18.4%は「まったく知らない相手」から被害を受けていた。加えて、交際相手・元交際相手や学校・職場・アルバイト先の関係者から被害を受けた者もみられた。実際、インターネット上で個人情報を特定された被害にあった回答者のうち、11.7%は「通っていた学校や大学の関係者」から、11.0%は「職場やアルバイト先の関係者」から、11.0%は「交際相手・元交際相手」から被害を受けていた。

「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」についても同様に、SNS などで知り合った人・知らない相手から被害を受けた者の割合が高い。また、交際相手・元交際相手や学校・職場・アルバイト先の関係者から被害を受けた者も一定数みられた。集計の結果、「SNS 上のメッセージ」について、21.8%は「SNS などで知り合った人」から、17.5%は「まったく知らない相手」から、16.2%は「知っているかどうかもわからない相手」から、14.9%は「交際相手・元交際相手」から、10.7%は「職場やアルバイト先の関係者」から、10.1%は「通っていた学校や大学の関係者」から被害を受けていた。「SNS 上のコメント」については、26.3%は「SNS などで知り合った人」から、24.2%は「まったく知らない相手」から、19.6%は「知っているかどうかもわからない相手」から、10.7%は「交際相手・

元交際相手」から、9.6%は「職場やアルバイト先の関係者」から、9.3%は「通っていた学校や大学の関係者」から被害を受けていた。

そして、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」に関しては、両者ともに、結婚相手・元結婚相手・交際相手・元交際相手から被害を受けた者が多くみられた。一方で、職場・アルバイト先の関係者や、知らない相手・知っているかどうかもわからない相手から被害を受けた回答者も多い。

集計の結果、「無断の GPS 等の設置」について回答が多い順に、職場やアルバイト先の関係者（20.5%）、交際相手・元交際相手（17.0%）、まったく知らない相手（14.8%）、SNS などで知り合った人（13.6%）、結婚相手・元結婚相手（12.5%）、知っているかどうかもわからない相手（11.4%）となっている。そして、結婚相手・元結婚相手・交際相手・元交際相手以外からの被害を受けた経験がある人の割合は、「無断の GPS 等の設置」の被害を経験した者の内 72.7%（詳細な表については省略）であった。また、「探偵等の身辺調査」については回答が多い順に、交際相手・元交際相手（15.9%）、結婚相手・元結婚相手（15.1%）、まったく知らない相手（11.9%）、知っているかどうかもわからない相手（11.9%）、職場やアルバイト先の関係者（11.1%）、職場やアルバイト先の客（9.5%）、交際相手や結婚相手の関係者（9.5%）となっている。

次に、「電話・メール等」の被害に関しても、交際相手・元交際相手や学校・職場・アルバイト先の関係者、関係の薄い相手から被害を受けた者の割合が高い。実際、回答が多い順に集計すると、交際相手・元交際相手（21.0%）、職場やアルバイト先の関係者（16.3%）、知っているかどうかもわからない相手（14.9%）、まったく知らない相手（12.5%）、通っていた学校や大学の関係者（11.6%）の順となる。

一方で、現在のストーカー規制法に含まれない「手紙や贈り物の送付」の被害も、学校・職場・アルバイト先の関係者や交際相手・元交際相手から被害を受けた者の割合が高い。集計の結果、回答が多い順に、職場やアルバイト先の関係者（22.6%）、通っていた学校や大学の関係者（18.2%）、交際相手・元交際相手（17.2%）、職場やアルバイト先の客（10.8%）となった。また、関係の薄い、まったく知らない相手（9.0%）、SNS などで知り合った人（8.2%）がそれに続いている。

現在のストーカー規正法に含まれる行為として、上記に挙げた被害の他に「乱暴な言動」、「汚物などの送付」、「名誉を害する行為」、「性的羞恥心の侵害」などがある。

「乱暴な言動」、「名誉を害する行為」については、職場・アルバイト先の関係者や交際相手・元交際相手から被害を受けた者の割合が高い。実際、「乱暴な言動」、「名誉を害する行為」の被害を受けた回答者のうち、それぞれ 32.5%、34.9%が職場・アルバイト先の関係者から、それぞれ 18.7%、13.7%が交際相手・元交際相手から被害を受けていた。
また、「汚物などの送付」については、近隣の住民・地域活動や習い事の関係者から被害を受けた者の割合が高かった（22.2%）。

そして、「性的羞恥心の侵害」については、交際相手・元交際相手や，学校・職場・アルバイト先の関係者からの被害が多く、20.9%が交際相手・元交際相手から、13.5%が通っていた学校や大学の関係者から、14.1%が職場やアルバイト先の関係者から被害を受けていた。さらに、「性的羞恥心の侵害」の被害を受けた回答者の 17.8%は、SNS などで知り合った人から被害を受けており、インターネットや SNS 上の性的な被害が存在していることを示唆している。

ほとんどの項目について、被害経験者は、交際相手・元交際相手や、学校・職場・アルバイト先の関係者からの被害を多く経験していた。また、インターネットや SNS 上の被害や、性的羞恥心の侵害については、SNS などで知り合った人からの被害も多く確認できる。特に、いずれの被害についても、まったく知らない相手・知っているかどうかもわからない相手からの被害が一定数見られた。以上から、「恋愛」感情以外の動機による被害割合も決して小さくないと推測され、そのため恋愛感情等の充足目的という要件に該当しない事案への対処が急務であることが示唆される。

相談先・相談相手

Q16 では、以下の被害（A、B、D、F、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q）を経験した者に、被害について相談したことのある相手・機関をたずねている。

集計の結果（表 9）、回答が多い相談先として、友人・知人（47.4%）、家族・親戚（30.1%）、職場・アルバイトの関係者（上司・部下、取引先・雇用先など）（22.6%）、警察（11.3%）があげられる。一方で、警察などと同様に問題解決のための専門的な知識や手段を持っていると予想される、民間の専門家や専門機関（弁護士、探偵など）（2.9%）、その他の公的な機関（市役所、相談支援センターなど）（2.4%）、カウンセラー・カウンセリング機関・民間シェルターなど（2.3%）、NPO 法人（0.7%）に相談した回答者は、少数にとどまった。

他にも、インターネット上で相談した（SNS、ブログ、掲示板など）（3.0%）、学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）（2.5%）、医療関係者（医師、看護師など）（1.8%）、大家・管理会社・地主（1.2%）、駅員・警備員（0.8%）に相談した回答者もみられた。

続いて、回答者の属性別に集計を行った（表 10）。男女別でみると、男性と比べて、女性は友人・知人（それぞれ 35.9%、54.9%）、家族・親戚（それぞれ 21.6%、35.6%）に相談する傾向が見られる。年代別にみても、若い年代では友人・知人、家族・親戚に相談しやすい傾向が見られる。実際、20 代の被害経験者のうち、52.9%が友人・知人に、32.7%が家族・親戚に相談している。

一方で、「どこ（だれ）にも相談しなかった」回答者も存在する。問 13 以降に回答した調査対象者、すなわち、上記の被害を経験した者のうち、29.5%が「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答している。

さらに、Q17 でも述べるが、被害を経験した際に相談するかどうかは、性別・年代によって異なる。男女別・年代別で集計すると、女性よりも男性の方が、また、若い世代よりも高齢の年代の方が、「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答する傾向にある。特に相談しなかった男性は、38.5%に及んでいる。

もちろん性別・年代によって被害ごとの経験率も異なるため、男性・高齢の方が相対的に軽度な被害が多いために上記の傾向が生じている可能性もある。そこで Q17 では、性別・年代ごとにも、被害ごとの相談の有無・結果を確認する。

相談の有無・相談の結果

Q17 では、それぞれの被害項目について、被害を個人・機関に相談したことがあるかどうか、また相談の結果、解決できたかどうかをたずねている。回答の選択肢は、「相談によって、解決できた」、「相談はしたが、解決まではいかなかった（解決までいっていない）」、「相談を検討したが、あきらめた」「相談を検討しなかった（検討していない）」となっている。相談の有無を集計するにあたって、「相談によって、解決できた」、「相談はしたが、解決まではいかなかった（解決までいっていない）」を「相談をした」、「相談を検討したが、あきらめた」を「相談を諦めた」、「相談を検討しなかった（検討していない）」を「相談を検討していない」に割り当てた。また、相談の結果は、「相談をした」者のなかで、解決した／しなかった割合を集計している。

集計の結果（表 11）、「相談をした」割合は多い順に、「無断の GPS 等の設置」（68.2%）、「つきまとい、待伏等」（63.2%）、「面会や交際の要求」（62.4%）、「名誉を害する行為」（61.8%）、「汚物などの送付」（61.1%）、「乱暴な言動」（59.9%）、「電話・メール等」（59.7%）、「手紙や贈り物の送付」（59.5%）、「監視を告げられる」（56.3%）、「性的羞恥心の侵害」（55.2%）、「SNS 上のメッセージ」（54.5%）、「SNS 上のコメント」（52.7%）、「探偵等の身辺調査」（50.8%）、「ネット上の個人情報」（49.5%）となった。

また、「相談して解決した」割合は多い順に、「探偵等の身辺調査」（59.4%）、「面会や交際の要求」（59.0%）、「手紙や贈り物の送付」（54.9%）、「つきまとい、待伏等」（54.8%）、「監視を告げられる」（48.8%）、「無断の GPS 等の設置」（48.3%）、「性的羞恥心の侵害」（46.7%）、「SNS 上のメッセージ」（46.4%）、「電話・メール等」（45.8%）、「SNS 上のコメント」（43.9%）、「ネット上の個人情報」（43.6%）、「乱暴な言動」（40.7%）、「汚物などの送付」（33.3%）、「名誉を害する行為」（31.6%）となった。

全体としてみれば、被害経験者の内、49.5～68.2%が特定の相手・機関につきまといなどの被害を相談しており、そのうち 31.6～59.4%が相談後に被害が解決している。反対に、被害経験者の内、31.8～50.5%は相談を諦める、あるいは検討していない状態である。

また、被害ごとに「相談をした」割合や、「相談して解決した」割合は異なっていることがわかった。例えば、「面会・交際の要求」、「つきまとい、待伏等」は、両者の割合が相対的に高い。あくまで相対的にではあるが、これらの被害は相談しやすく、また相談した際に解決につながりやすいことが予想される。一方で、インターネットや SNS 上の被害は、相対的に両者の割合が低く、相談しにくく、相談したとしても解決につながりにくいことが予想される。

相談の有無について、男女別に確認すると（表 12）、「面会・交際の要求」「つきまとい・待伏等」の被害は、男性の方が相談しにくく、「性的羞恥心の侵害」の被害は、女性の方が相談しにくいという傾向がみられた。年代別では（表 12）、「手紙や贈り物の送付」においてのみ、年代が高いほど相談しにくい傾向がみられた。それ以外の被害項目については、有意な男女差・年代差はみられなかったものの、被害項目全体にわたって男性の方が相談しにくい傾向にあることが読み取れる。このように、全体として男性がつきまとい被害の相談をしにくい傾向のなかで、「性的羞恥心の侵害」の被害に関しては女性の方が相談しにくい傾向にあることも明らかになった。ここから、女性にとって「性的羞恥心の侵害」をどこかの相手・機関に相談することには、かなり大きな障壁があると考えられる。

相談が失敗した理由・相談しなかった理由

Q18 では、相談が解決につながらなかった理由、相談をあきらめることになった理由、相談を検討しなかった理由についてたずねている。なお Q18 では、Q17 で「相談を検討していない」、「相談を諦めた」、「相談したが解決しなかった」回答者に対して、その理由をたずねている。ただし以下では、特定の被害を受けた者のなかで、特定の理由で相談が失敗した・相談しなかった者の割合を再計算した。また、選択肢についても、いくつかの項目を統合して集計を行った（表13）。元の集計結果に関しては、末表を参照（表13および表14）。

全体として、「自分が悪い、自分の責任だと思った」、「誰も相談に乗ってくれないだろうと思った」、「周囲の目が気になった」という理由で、すなわち、被害者の心理的障壁から相談を控えてしまう場合が多く見られた。

実際、「面会や交際の要求」の被害を受けた回答者のうち、18.8%（(63+67+51)/961）は「自分が悪い、自分の責任だと思った」、「誰も相談に乗ってくれないだろうと思った」、「周囲の目が気になった」という理由で、相談に失敗、あるいは相談をしていない。他の被害項目に関しても、「つきまとい・待伏等」、「ネット上の個人情報」、「監視を告げられる」、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「乱暴な言動」、「電話・メール等」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」、「手紙や贈り物の送付」、「汚物などの送付」、「名誉を害する行為」、「性的羞恥心の侵害」の被害を受けた回答者のうち、それぞれ 15.4%、19.4%、17.0%、14.8%、19.8%、20.4%、15.3%、20.1%、17.1%、18.8%、20.4%、20.8%、23.3%が、「自分が悪い、自分の責任だと思った」、「誰も相談に乗ってくれないだろうと思った」、「周囲の目が気になった」という理由で、相談を検討していない・相談を諦めた・相談したが解決していないことが確認できる。ここから、相談につながらない、あるいは相談が解決につながらない理由の一つ目に、被害者側が感じる「相談のしにくさ」があると考えられる。

次に、「被害が軽微であると断られた」、「管轄外であると断られた」、「からかわれて終わった」、「あなたが悪いと責められて終わった」という理由で、すなわち、相談したものの相談先に断られたという理由で、相談が上手くいかなかった場合も多く見られた。例えば、「面会や交際の要求」の被害を受けた回答者のうち、10.6%（(33+10+37+22)/961）は、上記の理由で相談が解決につながっていない状況にある。他の被害項目に関しても、「つきまとい・待伏等」、「ネット上の個人情報」、「監視を告げられる」、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「乱暴な言動」、「電話・メール等」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」、「手紙や贈り物の送付」、「汚物などの送付」、「名誉を害する行為」、「性的羞恥心の侵害」の被害を受けた回答者のうち、それぞれ 12.4%、18.4%、19.2%、26.1%、17.5%、16.5%、16.3%、14.6%、13.9%、12.6%、25.9%、20.0%、18.4%が、「被害が軽微であると断られた」、「管轄外であると断られた」、「からかわれて終わった」、「あなたが悪いと責められて終わった」という理由で、解決につながっていないことが確認できる。ここから、相談が失敗した理由・相談しなかった理由の二つ目に、相談先の「受け入れ体制の問題」があると考えられる。

また、「対策が上手くいかなかった」という理由で、相談が解決につながらなかったパターンも見られた。「面会や交際の要求」の被害を受けた回答者のうち、9.8%（94/961）は、上記の理由で相談が解決につながっていない。他の被害項目に関しても、「つきまとい・待伏等」、「ネット上の個人情報」、「監視を告げられる」、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「乱暴な言動」、「電話・メール等」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS 上のコメント」、「手紙や贈り物の送付」、「汚物などの送付」、「名誉を害する行為」、「性的羞恥心の侵害」の被害を受けた回答者のうち、それぞれ 9.2%、9.2%、10.0%、12.5%、8.7%、11.8%、11.3%、12.0%、10.3%、10.0%、7.4%、11.4%、9.8%

が、「対策が上手くいかなかった」ために解決につながっていないことが確認できる。ここから、相談が失敗した理由・相談しなかった理由の三つ目に、相談後の「解決手段の問題」があると考えられる。

この項目の集計結果を見渡してみると、被害を受けた人たちは、相談にたどりつくプロセスと相談後のプロセスのどちらにおいても、困難な状況に置かれていることがわかる。相談にまで至らないケースでは、加害者による報復行為への恐れなど、相談そのもののハードルを高くしてしまう要因の存在がある一方で、自分にも悪いところがあったかもしれないと考えてしまったり、誰も相談に乗ってくれないだろうという懸念をもってしまったり、周囲の目を気にすることで相談が難しくなっている。とりわけ、後者の理由で相談をしていない人にとっては、そもそも相談による解決という選択肢そのものが見えづらくなっている可能性が示唆される。さらに、いざ相談したとしても、相談相手にからかわれたり、責められたり、断られたりするケースも少なくない。また全ての被害項目において、対策がうまくいかないという理由が、１～２割程度を占めている。このことは、相談までたどりつけたとしても、つきまといなどの被害は、現状行われている相談や対策だけでは、依然として解決しづらい問題であることを示している。

被害が止んだきっかけ

Q19では、「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」、「無断のGPS等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「SNS上のメッセージ」、「SNS上のコメント」といった被害が、どのようなきっかけで止んだかをたずねている（表15および表16）。

まず、「当人同士の話し合いによる解決」、「自分の友人や家族による介入」によって被害が止んだのは、「面会や交際の要求」の被害を受けた者の 31.8%、「つきまとい・待伏等」の被害を受けた者の 23.5%に及んでいる。また、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「SNS上のメッセージ」、「SNS上のコメント」の被害を受けた者の、それぞれ 28.4%、26.2%、16.9%、16.0%が、「当人同士の話し合いによる解決」、「自分の友人や家族による介入」のいずれかあるいは両方は被害が止んだきっかけになったと答えている。

つづいて、「探偵や弁護士、NPO など民間の専門家による介入」、「警察などによる介入」によって被害が止んだのは、「面会や交際の要求」の被害を受けた者の 8.0%、「つきまとい・待伏等」の被害を受けた者の11.3%となっている。「無断のGPS等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「SNS上のメッセージ」、「SNS上のコメント」の被害を受けた者も、それぞれ 25.0%、19.0%、11.7%、12.5%が、民間の専門家・警察などの介入を被害の止んだきっかけとしている。

次に、「転職や引越し」によって被害が止んだ回答者は、「面会や交際の要求」の被害を受けた回答者の14.0%、「つきまとい・待伏等」の被害を受けた回答者の16.6%となっている。「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「SNS 上のメッセージ」、「SNS上のコメント」の被害を受けた回答者のうち、それぞれ 5.7%、4.8%、7.5%、5.0%が、「転職や引越し」を被害が止んだきっかけと答えている。

そして、「よくわからないが、時間とともに自然に止んだ」という回答が、全体として多く見られた。実際、「面会や交際の要求」、「つきまとい・待伏等」、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」の被害を受けた回答者の、それぞれ 34.7%、35.6%、17.0%、34.1%に及んでいる。特に SNS 上の被害は、「SNS 上のメッセージ」の 39.3%、「SNS上のコメント」の40.9%と、「よくわからないが、時間とともに自然に止んだ」場合が多くみられた。

以上から、全体として、民間の専門家・警察などの介入による解決は 1-2 割にとどまっており、多くは本人・友人・家族による解決や、転職・引越し・時間経過による解決となっていることがわかる。特に、「よくわからないが、時間とともに自然に止んだ」という回答が最も多く見られた。一方で、Q14 で確認したように、これらの被害の継続期間は、必ずしも短期間とはいえず、また、Q20 で確認するように、つきまとい被害を経験した者の多くは、つきまとい被害を経て何らかの対応をとっている。それゆえ、「暮らし・活動を制限されることのない、安心安全な社会」を目指すためには、社会としての対応が求められる。また、SNS 上の被害については、時間経過による解決が多くなっている点は上記の被害と同様であるものの、本人・友人・家族による解決が相対的に難しい点には注意が必要である。そのため、SNS 上の被害に対しては、その他の項目と同等かそれ以上に、社会としての対応が必要になるだろう。

どのようにつきまとい被害に対応しているのか

Q20 では、つきまとい、追い回し、嫌がらせなどの被害を受けて，本調査対象者がおこなった対応についてたずねている。全体で集計すると（表 17）、回答が多い順に（その他を除く）、「SNS 上のアカウントなどをブロックした」（20.0%）、「人付き合いを減らした」（19.2%）、「電話番号・メールアドレスやアカウント名を変えた」（16.0%）、「外出する時間帯を変更した」（13.8%）、「一人で出歩かないようになった」（13.7%）、「外出を控えるようになった」（12.9%）、「引越しをした」（12.1%）、「SNS 上のアカウントを削除した・プライベートモードに変えた」（11.5%）、「転校・転職をした」（9.0%）、「通勤・通学の時間帯を変更した」（8.6%）、「職場や学校を休んだ」（7.6%）、「電車で目的地と異なる駅で降りた」（7.6%）、「どんな対応もしていない」（7.5%）、「服装に気を付けるようになった」（7.0%）、「その駅の利用を控えるようになった」（7.0%）、「引越しを検討した」（6.8%）、「タクシードライバーや同乗者に家の場所を知られたくないために、ちょっと離れたところで降りた」（5.4%）、「転校・転職を検討した」（5.3%）、「オートロックやカメラ付インターホン、二階以上の物件を意識的に選ぶようになった」（3.4%）、「鍵を変えた」（3.3%）、となっている。

これらの結果をみると、被害に対してどのような対応もしていない人は１割程度にとどまっており、被害を経験した人の多くが何らかの対応をとっていることがわかる。特に、SNS・電話・メールに関連する被害に対する対応と考えられる「SNS 上のアカウントなどをブロックした」、「電話番号・メールアドレスやアカウント名を変えた」や、人間関係・外出を制限・変更するような「人付き合い減らした」、「外出する時間帯を変更した」、「一人で出歩かないようになった」、「外出を控えるようになった」といった対応が多く取られている。

次に、男女で集計した結果をみると（表 18）、男性において、「職場や学校を休んだ」、「人付き合いを減らした」、「SNS 上のアカウントを削除した・プライベートモードに変えた」という対応が相対的に多い。女性において、「一人で出歩かないようになった」、「外出を控えるようになった」、「外出する時間帯を変更した」、「通勤・通学の時間帯を変更した」、「引っ越しをした」、「服装に気を付けるようになった」、「オートロックやカメラ付インターホン、二階以上の物件を意識的に選ぶようになった」、「タクシードライバーや同乗者に家の場所を知られたくないために、ちょっと離れたところで降りた」という対応が相対的に多い傾向にある。これらを踏まえると、女性の方が日常における行動制限に関わる対応を多くおこなっていることがわかる。

どのような取り組みを望んでいるのか

Q21 では、つきまとい、追い回し、嫌がらせなどの被害に対して、どのような取り組みを希望するかをたずねている。全体で集計すると（表 19）、回答が多い順に（その他を除く）、「警察の相談体制の拡充」（38.8%）、「迷惑行為と認定されやすくなる法整備」（32.6%）、「つきまといが迷惑行為であるという広報活動」（32.1%）、「加害者への刑事罰の強化（厳罰化）」（30.9%）、「被害減少への取り組みの法的な義務付け」（27.6%）、「ネット上での迷惑行為に対する、SNS 企業による自主的な通報・削除対応の強化」（27.0%）、「インターネット（SNS、ブログ、掲示板等）を用いた相談先の仕組みづくり」（23.9%）、「相談先の存在を広く知らせるための広報活動」（23.1%）、「引っ越しなど生活再建のための資金援助」（18.7%）、「加害を繰り返してしまう人が相談できる仕組みづくり」（18.2%）、「一時避難が可能なシェルターの拡充」（17.1%）、「電話を用いた相談先の仕組みづくり」（15.9%）、「出所後の加害者情報を知れる仕組み」（15.9%）、「NPO などの相談体制の拡充」（15.0%）、「同意のない GPS 装置設置や位置情報監視の違法化」（14.1%）、「加害者への治療プログラムによるつきまとい感情の解消」（13.3%）、「治療中の加害者情報を知れる仕組み」（11.6%）、「探偵などによる身元調査の規制」（9.3%）、「どんな取り組みも望まない」（1.8%）となっている。

これらの結果をみると、「警察の相談体制の拡充」、「迷惑行為と認定されやすくなる法整備」、「加害者への刑事罰の強化（厳罰化）」など、公的な取り組みの充実が多く求められていることがわかる。また、SNS やネット上の被害に関しては、「被害減少への取り組みの法的な義務付け」や「ネット上での迷惑行為に対する、SNS 企業による自主的な通報・削除対応の強化」など、民間企業における取り組みの促進が多く望まれている。さらに、広報活動や相談先の拡充といった取り組みに加えて、「一時避難が可能なシェルターの拡充」や「引っ越しなど生活再建のための資金援助」など被害の回避に直結する取り組みを求める回答も少なくないことがわかる。

次に、男女で集計した結果をみると（表 20）、女性において、「相談先の存在を広く知らせるための広報活動」、「つきまといが迷惑行為であるという広報活動」、「警察の相談体制の拡充」、「一時避難が可能なシェルターの拡充」、「引っ越しなど生活再建のための資金援助」、「治療中の加害者情報を知れる仕組み」、「出所後の加害者情報を知れる仕組み」、「加害者への治療プログラムによるつきまとい感情の解消」、「同意のない GPS 装置設置や位置情報監視の違法化」、「迷惑行為と認定されやすくなる法整備」、といった取り組みが、特に多く求められていることがわかる。年代別にみると、「インターネット（SNS、ブログ、掲示板等）を用いた相談先の仕組みづくり」に関して、年代が低いほど求めている傾向がみてとれる。また、「迷惑行為と認定されやすくなる法整備」や「加害者への刑事罰の強化（厳罰化）」といった取り組みに関しては、年代が高いほど、より多く求めていることがわかる。

調査結果から見えた、ストーカー対策の今後

本調査の目的は、近年のつきまとい被害実態の把握にあった。こうした観点から、調査結果をまとめる。

第一に、従来の法規制には該当しない被害の実態が明らかになった。「数十 m 以上の尾行」、「ネット上の個人情報」、「SNS 等の不正ログイン」、「指摘・クレーム」、「無断の GPS 等の設置」、「探偵等の身辺調査」、「手紙や贈り物の送付」といった、従来の規制法の範囲外にある被害も一定程度生じていることがわかった。ただし、現在のつきまとい被害において、従来の規制法に含まれる被害を受けた人が多くみられる点については留意が必要である。

第二に、恋愛充足目的（に関する要件）を満たさない可能性のあるつきまとい被害の実態が明らかになった。いずれの被害についても、まったく知らない相手・知っているかどうかもわからない相手からの被害が一定数見られた。特に、インターネットや SNS 上の被害に関しては一貫して、SNS などで知り合った人や知らない相手・知っているかどうかもわからない相手から被害を受けた者の割合が高い。もちろん、見知らぬ相手からの、動機不明のつきまといについても、事案によっては法文の解釈によって適応可能となりそうではある。しかし一方で類似の事案であったとしても、窓口によって門前払いされるというケースも存在する。そこには、警察は起訴に対して慎重であるため、法適用について消極的になりがちであるという背景もあるだろう。しかし、関係性が薄い相手から、動機が不明な状態でつきまとわれるというケースは、今回の調査からも広く伺える。こうした実態に対応するためには、現場への幅広い運用を徹底することに加えて、より実態の被害に対応できる法改正が行われる必要があるだろう。

第三に、つきまとい被害を受けた者は、解決の道筋が見えにくい負荷を中長期的に経験していることが明らかになった。種類を問わず、つきまとい被害が数ヶ月単位で継続している。また、つきまとい被害を経験した者のおおよそ９割が被害に対して何らかの具体的な対応をとっている。本調査では正確には把握できないものの、ここには被害を受けている間の行動変容だけでなく、被害後もなお、持続的な行動変容を行なっている者も含まれているだろう。

他方で、被害の解決は時間経過によるものが多いことを考慮すれば、「被害が過ぎ去るのを待つ」という選択肢を選ばざる得ない被害経験者も少なくないといえる。被害の解決に至る具体的なプロセスの出発点となる相談体制が、依然として不十分であることがその背景の一つとなっている。

全体としていえば、つきまとい被害を受けた者の３割程度は、どの機関や相手にも相談していない。「自分が悪い、自分の責任だと思った」、「誰も相談に乗ってくれないだろうと思った」、「周囲の目が気になった」といった心理的障壁が、被害自体の相談や被害の解決に向けた相談を妨げている。友人・知人（47.4%）、家族・親戚（30.1%）が多い一方で、警察以外の専門機関への相談は乏しくその活用が進んでいるとは言い難い。

第四に、法規制内/外を問わず、つきまとい被害に対する社会的介入のニーズが大きいことが明らかになった。警察を含めた専門家による解決は 1-2 割程度である。現在では、時間経過による解決を除くと、本人や友人・家族といった近親者などの介入が被害の解決に負う部分が大きい。とりわけ、インターネットや SNS 上での被害に代表されるように、まったく知らない相手・知っているかどうかもわからない相手などから被害を受けている場合には、本人・友人・家族による解決が相対的に難しいと推測できるため、積極的な社会的介入の必要性はより増してくる。

「警察の相談体制の拡充」、「迷惑行為と認定されやすくなる法整備」、「加害者への刑事罰の強化（厳罰化）」など、公的な取り組みの充実などに加えて、SNS やネット上の被害に関しては「被害減少への取り組みの法的な義務付け」や「ネット上での迷惑行為に対する、SNS 企業による自主的な通報・削除対応の強化」など、民間企業における取り組

みの促進が多く望まれている。さらに、広報活動や相談先の拡充といった取り組みに加えて、「一時避難が可能なシェルターの拡充」や「引っ越しなど生活再建のための資金援助」など被害の回避に直結する取り組みを求める回答も少なくない。つきまとい被害に対する社会的介入は、量と質の両面においてさらなる向上が求められている。

本調査から得られた結果を内閣府調査と比較すると、いくつかの共通した傾向を再確認することができた。例えば、多くの被害において男性よりも女性が被害を受ける傾向にある点、男性の方が相談しにくい傾向にある点、加害者とどのような関係性にあるかという点は、2 つの調査においてほぼ同様の傾向が確認できる。

他方で本調査に基づく分析結果には、内閣府調査と比べていくつかの点で有意義な情報が含まれていることも確かである。例えば、本調査では相談を断られた理由などを聞くことで、相談を試みたが失敗したケースや断られた方のパターンなどについて把握することができる。残念ながら内閣府調査では、警察によって相談を断られたケースなどは回答選択肢としてそもそも考慮されていない。また、被害を受けた後の生活上の変化について実際にどのように行動を変えたのかという点についてより詳しく聞いている。特に、女性において、つきまとい被害がより日常的な行動の制限につながっていることも新たにわかった。これらのことは、つきまとい被害がより具体的にどのような日常生活における損失や行動の制限をもたらしているのかを理解する助けになると考えられる。

さいごに、これらの結果にはやはり限界もある。まず被害経験率の把握という点については、やはり内閣府調査のようなランダムサンプリングに基づく統計調査をベースに議論するほうが賢明であると考えられる。繰り返しにはなるが、この点については十分に留意しておく必要がある。つきまとい被害の経験率については、内閣府調査を比べるとやや高くなっている。これは、すでに言及したサンプリングや個別の被害項目ごとの回答形式などの違いから生じていると考えられる。また、自分のプライバシーが守られやすいと回答者が感じやすいことなどインターネット調査の利点もこのことに関係しているかもしれない。次に、調査設計上特定の属性や立場の人々の被害実態を捉えることが難しかった点も挙げられる。例えば、今回の調査では、トランス男性や女性の被害などについては十分に把握できなかった。これらの点は本調査にとっての課題であり、今後の調査で検討されるべきであろう。本プロジェクトが、つきまとい被害の実態把握やその理解の一助となれば幸いである。

【付録 1】
つきまとい被害に関する実態調査
質問票

スクリーニング調査　調査票

Q1-1.
どのようなデバイスを使用して、この調査に回答しますか。（ひとつだけ）

1　スマートフォン
2　タブレット端末
3　PC
4　その他

Q1.
あなたの性別をお答えください。（ひとつだけ）

1　男性
2　女性

Q2.
あなたは、2020 年 12 月 31 日時点で何歳になりますか。

____歳

【Q2 から 20-59 歳以外の回答者は、調査終了】

Q3.
あなたのお住まいの都道府県をお答えください。（ひとつだけ）

1　東京都
2　埼玉県
3　千葉県
4　神奈川県
5　上記以外の都道府県

【Q3 から選択肢 5 の回答者は、調査終了】

Q4.
あなたが最後に行かれた（または在学中の）学校は、次のどちらにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。（ひとつだけ）

1　中学校
2　高等学校
3　中学校卒業後、専門学校・専修学校
4　高等学校卒業後、専門学校・専修学校（2 年以上 4 年未満）
5　高等学校卒業後、専門学校・専修学校（4 年以上）
6　短期大学・高等専門学校
7　大学
8　大学院
9　その他（FA: ____）

Q5.
あなたは現在結婚されていますか。
届出の有無に関係なくお答えください。（ひとつだけ）

1　初婚のまま、現在も結婚している
2　離別したが、現在は結婚している
3　死別したが、現在は結婚している
4　離別し、現在は結婚していない
5　死別し、現在は結婚していない
6　結婚したことはない

Q6.
あなたの現在のお仕事は、大きく分けてこの中のどれにあたりますか。（ひとつだけ）

1　勤め人（正規の職員・従業員）
2　勤め人（派遣社員・嘱託社員・パートタイム・アルバイトなど）
3　会社などの役員
4　自営業（自営業主・家族従業者・内職など）
5　その他の仕事（FA: ____）
6　学生
7　専業主婦・主夫
8　無職（年金受給者を含む）

【Q6 の選択肢 6,7,8 の場合、Q7 をスキップ】

Q7.
あなたの現在のお仕事の内容をお答えください。（ひとつだけ）

1　管理的職業（課長相当以上の管理職、議員など）
2　専門的・技術的職業（医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など）
3　事務的職業（事務員、銀行員、キーパンチャー、集金人、公務員など）
4　販売・営業・サービス職（店主、店員、外交員、営業社員、美容師、給仕、接客、ヘルパーなど）
5　技能・労務・作業職（工場労働者、検査・整備・修理工、自衛官、警察官、職人、建設作業者、運転手、清掃など）
6　農林漁業職（植木職、造園業を含む）
7　その他（FA: ____）

Q8.
あなたご自身の 2019 年 1～12 月の収入は、この中のどれにあたりますか。
税金を差し引く前の収入でお答えください。
年金、株式配当、不動産収入など、臨時収入、副収入もすべて含めてください。（ひとつだけ）

1　なし
2　70 万円未満

3　70～100 万円未満
4　100～130 万円未満
5　130～150 万円未満
6　150～250 万円未満
7　250～350 万円未満
8　350～450 万円未満
9　450～550 万円未満
10　550～650 万円未満
11　650～750 万円未満
12　750～850 万円未満
13　850～1,000 万円未満
14　1,000～1,200 万円未満
15　1,200～1,400 万円未満
16　1,400～1,600 万円未満
17　1,600～1,850 万円未満
18　1,850～2,300 万円未満
19　2,300 万円以上（FA: ____万円）

Q9.
以下の A～F の意見について、あなたはどう思いますか。
あてはまるものを選んでください。（それぞれひとつずつ）

A. 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ
B. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ
C. 夫に充分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい
D. 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える
E. この項目は「あまりそう思わない」を選んでください
F. 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

1　そう思う
2　ややそう思う
3　どちらともいえない
4　あまりそう思わない
5　そう思わない

Q10.
あなたはこれまでに、（知人や見知らぬ人を含む）ある特定の相手から、つきまとわれたり、追い回されたり、嫌がらせを受けたりするなどの被害・迷惑行為を受けたことがありますか。（ひとつだけ）

1　経験がある
2　経験がない

- 本アンケートは、誰かにつきまとわれたり、追い回されたり、嫌がらせを受けたりするなどの被害・迷惑行為についての実態を幅広く明らかにすることを目的として実施いたします。

- そのため、アンケートのなかで、つきまとい被害の詳細について繰り返したずねることとなります。途中で気分が悪くなった場合には、いつでもアンケートへの回答を中断していただいて構いません。

- プライバシーに深くかかわる内容ですので、回答される際にはお一人でご回答いただきますようお願いいたします。

- 本アンケートのデータは、個人を特定できないように匿名化したうえで集計・分析し、個人が特定できないように十分配慮したうえで集計・分析した結果を公表いたします。

Q11.
以上の注意事項をよく読んだうえで、本アンケートへの参加を同意していただけますか。（ひとつだけ）

1　同意する
2　同意しない

【Q11 から選択肢 2 の回答者は、調査終了】

Q12.
あなたはこれまでに、（知人や見知らぬ人を含む）ある特定の相手から、次のようなつきまとい、追い回し、嫌がらせなどの被害を受けたことがありますか。
あてはまる経験をすべて選んでください。（それぞれひとつずつ）
【縦軸に A-R の項目、横軸に 1-4 の回答選択肢を表示するマトリクス形式】

A. 望まない面会や交際の執拗な要求
B. つきまとい、待ち伏せ、押し掛け、うろつき
C. 知らない人に数十メートル以上ついてこられた
D. インターネット上で個人情報を特定される
E. 特定の個人から SNS 等に不正ログインされる
F. 監視していると告げられる
G. 度を越えた指摘やクレームを受ける
H. 無断で GPS 端末を設置される、位置情報共有・追跡アプリをインストールされる
I. 探偵・興信所などを利用して身辺調査される
J. 繰り返し乱暴な言動を受ける
K. 連続した嫌がらせの電話・ファックス・電子メールなどの送信
L. SNS を通じた嫌がらせのメッセージの送信（DM やメッセージアプリなども含む）
M. SNS を通じた嫌がらせのコメントの投稿（リプライなども含む）
N. 望まない手紙や贈り物の送付
O. 汚物などの送付
P. あなたの名誉を害することを告げる行為
Q. 性的羞恥心の侵害（猥褻な文書や画像を繰り返し送信される、自らの性的な画像を同意なく発信されるなど）
R. その他

1　　一人からあった
2　　二人からあった
3　　三人以上からあった
4　　まったくなかった

【Q12 の A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q に 1-3 と回答した場合のみ、本調査に回答する】

本調査　調査票

Q13.
あなたがこれまでに受けた被害は、次のうちいつ頃からはじまりましたか。
同じ項目（アルファベット）の被害を複数回にわたって受けている場合は、あてはまる時期をすべて選んでください。（各行でそれぞれいくつでも）
【縦軸に A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q の項目、横軸に 1-3 の回答選択肢を表示するマトリクス形式（ただし縦軸のうち、Q12 の選択肢が 4 だった項目は表示しない）】

1　二〇十八年十二月以前からはじまった
2　二〇十九年一月から十二月からはじまった
3　二〇二〇年一月以降にはじまった

【Q12 の A,B,H,I,L,M にどれかひとつでも 1,2,3 と回答した場合、問 14 に回答する】

Q14.
あなたがこれまでに受けた以下の被害は、どの程度の期間にわたりましたか。
現在も継続している場合は、現在までの期間をお答えください。
また、同じ項目（アルファベット）の被害を複数回にわたって受けている場合は、最長のものをお答えください。
【A,B,H,I,L,M の項目のうち、Q12 の回答が 1,2,3 である項目のそれぞれについて回答】

____ヵ月

Q15.
あなたは、加害者とどのような関係でしたか。
同じ項目（アルファベット）の被害を複数回にわたって受けている場合は、あてはまる関係をすべて選んでください。（各行でそれぞれいくつでも）
【縦軸に A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q の項目、横軸に 1-13 の回答選択肢を表示するマトリクス形式（ただし縦軸のうち、Q12 の選択肢が 4 だった項目は表示しない）】

1　結婚相手・元結婚相手
2　交際相手・元交際相手
3　交際相手や結婚相手の関係者
4　通っていた学校や大学の関係者
5　職場やアルバイト先の関係者
6　職場やアルバイト先の客
7　SNS などで知り合った人
8　親・親戚・兄弟姉妹などの親族
9　親の交際相手
10　近隣の住民、地域活動や習い事の関係者
11　まったく知らない相手
12　知っているかどうかもわからない相手
13　その他

【Q15 の A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q が選択肢 13 の場合、Q15-1 に回答】

Q15-1.

前問で「13.その他」を選択された方にお伺いします。
あなたは、加害者とどのような関係でしたか。
それぞれの被害について、できるだけ詳細に教えてください。
【A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q の項目のうち、Q15 の選択肢が 13 だった項目を回答】

FA: ____

Q16.
あなたがこれまでに、つきまとい、追い回し、嫌がらせなどの被害について相談したことのある相手・機関をすべて選んでください。（いくつでも）
【選択肢 15 を回答した場合，他の選択肢を選択できないようにする】

1 友人・知人
2 家族・親戚
3 職場・アルバイトの関係者（上司・部下、取引先・雇用先など）
4 大家・管理会社・地主
5 駅員・警備員
6 警察
7 医療関係者（医師、看護師など）
8 民間の専門家や専門機関（弁護士、探偵など）
9 NPO 法人
10 カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど
11 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）
12 その他の公的な機関（市役所、相談支援センターなど）
13 インターネット上で相談した（SNS、ブログ、掲示板など）
14 その他（FA: ____）
15 どこ（だれ）にも相談しなかった

Q17.
あなたは、それぞれの項目（アルファベット）の被害について、相談することはありましたか。
同じ項目の被害を複数回にわたって受けている場合は、直近の事例についてお答えください。（それぞれひとつずつ）
【縦軸に A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q の項目、横軸に 1-4 の回答選択肢を表示するマトリクス形式（ただし縦軸のうち、Q12 の選択肢が 4 だった項目は表示しない）】

1 相談によって、解決できた
2 相談はしたが、解決まではいかなかった（解決までいっていない）
3 相談を検討したが，あきらめた
4 相談を検討しなかった（検討していない）

【Q17 の A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q に選択肢 2,3,4 と回答した場合，Q18 に回答】

Q18.
どのような理由から、相談が解決につながらなかった、あるいは、相談をあきらめることになりましたか。
それぞれの被害について、最もあてはまる理由をお答えください。（それぞれひとつずつ）
【縦軸に A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q の項目、横軸に 1-13 の回答選択肢を表示するマト

リクス形式（ただし縦軸のうち、Q17 の選択肢が 2,3,4 だった項目のみ表示）】

1　対策が上手くいかなかった
2　被害が軽微であると断られた
3　管轄外であると断られた
4　からかわれて終わった
5　あなたが悪いと責められて終わった
6　自分が悪い、自分の責任だと思った
7　加害者が処罰されそうだと思った
8　相談したら、加害者からの報復があると思った
9　誰も相談に乗ってくれないだろうと思った
10　周囲の目が気になった
11　費用が高かった（弁護士や探偵にかかるお金・診療料金など）
12　手続きが大変だった
13　その他

【Q18 の A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q が選択肢 13 の場合、Q18-1 に回答】

Q18-1.
前問で「その他」を選択された方にお伺いします。
相談が解決につながらなかった、あるいは、相談をあきらめることになった理由とは、どのようなものでしたか。
それぞれの被害について、できるだけ詳細に教えてください。
【A,B,D,F,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q の項目のうち、Q18 の選択肢が 13 だった項目を回答】

FA: ____

【Q12 の A,B,H,I,L,M にどれかひとつでも 1,2,3 と回答した場合、Q19 に回答する】

Q19.
以下の被害が止んだきっかけは、どのようなものでしたか。
あてはまるものをすべて選んでください。（各行でそれぞれいくつでも）
【縦軸に A,B,H,I,L,M の項目、横軸に 1-10 の回答選択肢を表示するマトリクス形式（ただし縦軸のうち、Q12 の選択肢が 4 だった項目は表示しない）】
【選択肢 9 を回答した場合，他の選択肢を選択できないようにする】

1　当人同士の話し合いによる解決
2　自分の友人や家族による介入
3　加害者側の関係者による介入
4　上司や会社による介入
5　探偵や弁護士、NPO など民間の専門家による介入
6　警察などによる介入
7　転職や引っ越し
8　よくわからないが、時間とともに自然に止んだ
9　現在も継続している
10　その他

【Q19 の A,B,H,I,L,M が選択肢 10 の場合、Q19-1 に回答】

Q19-1.
前問で「その他」を選択された方にお伺いします。
以下の被害が止んだきっかけとは、どのようなものでしたか。
それぞれの被害について、できるだけ詳細に教えてください。
【A,B,H,I,L,M の項目のうち、Q19 の選択肢が 10 だった項目を回答】

FA: ____

Q20.
ここまでにたずねてきたつきまとい、追い回し、嫌がらせなどの被害を受けて、次のうちどのような対応をおこなっていますか（おこないましたか）。あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）
【選択肢のランダム化：() は順番固定せずグループ化, [] は順番固定してグループ化,
[((1,[2,3]),(4,(5,6),7),(8,9,(10,11)),(12,(13,14),15),((16,17),18),19),20]】

1 タクシードライバーや同乗者に家の場所を知られたくないために、ちょっと離れたところで降りた
2 電車で目的地と異なる駅で降りた
3 その駅の利用を控えるようになった
4 通勤・通学の時間帯を変更した
5 転校・転職をした
6 転校・転職を検討した
7 職場や学校を休んだ
8 服装に気を付けるようになった
9 一人で出歩かないようになった
10 外出する時間帯を変更した
11 外出を控えるようになった
12 鍵を変えた
13 引越しをした
14 引越しを検討した
15 オートロックやカメラ付インターホン、二階以上の物件を意識的に選ぶようになった
16 SNS 上のアカウントを削除した・プライベートモードに変えた
17 SNS 上のアカウントなどをブロックした
18 電話番号・メールアドレスやアカウント名を変えた
19 人付き合いを減らした
20 その他（FA: __）

Q21.
ここまでにたずねてきた、つきまとい、追い回し、嫌がらせなどの被害に対して、過去の経験をふまえて、どのような取り組みを進めて欲しいと感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）
【選択肢のランダム化：() は順番固定せずグループ化, [] は順番固定してグループ化,
[((1,2),([3,4],(5,6),7),(8,9),[10,(11,12)],[13,(14,(15,16))],(17,18)),19]】

1 相談先の存在を広く知らせるための広報活動

2　つきまといが迷惑行為であるという広報活動
3　警察の相談体制の拡充
4　NPO などの相談体制の拡充
5　電話を用いた相談先の仕組みづくり
6　インターネット（SNS.、ブログ、掲示板等）を用いた相談先の仕組みづくり
7　加害を繰り返してしまう人が相談できる仕組みづくり
8　一時避難が可能なシェルターの拡充
9　引っ越しなど生活再建のための資金援助
10　迷惑行為と認定されやすくなる法整備
11　同意のない GPS 装置設置や位置情報監視の違法化
12　探偵などによる身元調査の規制
13　加害者への刑事罰の強化（厳罰化）
14　加害者への治療プログラムによるつきまとい感情の解消
15　出所後の加害者情報を知れる仕組み
16　治療中の加害者情報を知れる仕組み
17　ネット上での迷惑行為に対する、SNS 企業による自主的な通報・削除対応の強化
18　ネット上での迷惑行為に対する、SNS 企業による、被害減少への取り組みの法的な義務付け
19　その他（FA: __）

【付録 2】
つきまとい被害に関する実態調査
各データ

サンプルの割り付け

都県・年代・性別をもとに事前割付を行った。各層の目標回収数と有効回収数は以下の通りである。

			男性	女性
目標回収数（N=9000）	東京都	20-29	364	364
		30-39	439	422
		40-49	518	500
		50-59	442	415
	埼玉県	20-29	188	177
		30-39	214	197
		40-49	284	260
		50-59	238	221
	千葉県	20-29	162	150
		30-39	181	167
		40-49	236	219
		50-59	202	189
	神奈川県	20-29	248	226
		30-39	260	244
		40-49	346	330
		50-59	310	287
有効回収数（N=8822）	東京都	20-29	341	346
		30-39	428	409
		40-49	512	500
		50-59	445	409
	埼玉県	20-29	166	170
		30-39	206	192
		40-49	285	265
		50-59	238	227
	千葉県	20-29	146	143
		30-39	171	164
		40-49	233	216
		50-59	201	192
	神奈川県	20-29	226	212

		30-39	249	242
		40-49	347	333
		50-59	318	290

調査サンプルの基本属性

Q1-1_デバイス	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
スマートフォン	3481	51.9%	1039	57.1%
タブレット端末	345	5.1%	89	4.9%
PC	2875	42.9%	692	38.0%
その他	5	0.1%	1	0.1%

Q1_性別	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
男性	3387	50.5%	714	39.2%
女性	3319	49.5%	1107	60.8%

Q2_年代	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
20代	1260	18.8%	395	21.7%
30代	1532	22.8%	434	23.8%
40代	2042	30.5%	531	29.2%
50代	1872	27.9%	461	25.3%

Q3_都県	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
東京都	2595	38.7%	746	41.0%
埼玉県	1310	19.5%	339	18.6%
千葉県	1105	16.5%	309	17.0%
神奈川県	1696	25.3%	427	23.4%

Q4_最終学歴	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
中学校	63	0.9%	15	0.8%
高等学校	1224	18.3%	335	18.4%
中学校卒業後、専門学校・専修学校	106	1.6%	31	1.7%
高等学校卒業後、専門学校・専修学校（2年以上4年未満）	622	9.3%	158	8.7%
高等学校卒業後、専門学校・専修学校（4年以上）	147	2.2%	43	2.4%
短期大学・高等専門学校	652	9.7%	202	11.1%
大学	3440	51.3%	900	49.4%
大学院	450	6.7%	137	7.5%
その他	2	0.0%	0	0.0%

Q5_婚姻関係	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
初婚のまま、現在も結婚している	3019	45.0%	761	41.8%
離別したが、現在は結婚している	191	2.8%	84	4.6%
死別したが、現在は結婚している	8	0.1%	2	0.1%
離別し、現在は結婚していない	335	5.0%	141	7.7%
死別し、現在は結婚していない	31	0.5%	12	0.7%
結婚したことはない	3122	46.6%	821	45.1%

Q6_現在の雇用形態	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
勤め人（正規の職員・従業員）	63	0.9%	15	0.8%
勤め人（派遣社員・嘱託社員・パートタイム・アルバイトなど）	1224	18.3%	335	18.4%
会社などの役員	106	1.6%	31	1.7%
自営業（自営業主・家族従業者・内職など）	622	9.3%	158	8.7%
その他の仕事	147	2.2%	43	2.4%
学生	652	9.7%	202	11.1%
専業主婦・主夫	3440	51.3%	900	49.4%
無職（年金受給者を含む）	450	6.7%	137	7.5%

Q7_現在の職業	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
管理的職業	547	8.2%	149	8.2%
専門的・技術的職業	1115	16.6%	307	16.9%
事務的職業	1517	22.6%	440	24.2%
販売・営業・サービス職	1033	15.4%	279	15.3%
技能・労務・作業職	622	9.3%	141	7.7%
農林漁業職	13	0.2%	2	0.1%
その他	156	2.3%	49	2.7%
非該当	1703	25.4%	454	24.9%

Q8_個人収入	スクリーニング		本調査	
	度数	%	度数	%
全体	6706	100.0%	1821	100.0%
なし	989	14.7%	254	13.9%
70万円未満	720	10.7%	205	11.3%
70～100万円未満	381	5.7%	96	5.3%
100～130万円未満	274	4.1%	88	4.8%
130～150万円未満	122	1.8%	43	2.4%
150～250万円未満	564	8.4%	166	9.1%
250～350万円未満	764	11.4%	241	13.2%
350～450万円未満	731	10.9%	195	10.7%
450～550万円未満	616	9.2%	157	8.6%
550～650万円未満	406	6.1%	108	5.9%
650～750万円未満	314	4.7%	70	3.8%
750～850万円未満	236	3.5%	57	3.1%
850～1,000万円未満	261	3.9%	61	3.3%
1,000～1,200万円未満	159	2.4%	36	2.0%
1,200～1,400万円未満	67	1.0%	12	0.7%
1,400～1,600万円未満	37	0.6%	10	0.5%
1,600～1,850万円未満	21	0.3%	4	0.2%
1,850～2,300万円未満	30	0.4%	14	0.8%
2,300万円以上	14	0.2%	4	0.2%

度数分布表・クロス集計表

表 1. 項目別被害経験・被害開始時期

	Q12．被害経験	Q13．開始時期	
		2019年以降	2020年以降
A. 面会や交際の要求	961 (14.3%)	93 (1.4% / 9.7%)	45 (0.7% / 4.7%)
B. つきまとい・待伏等	939 (14.0%)	101 (1.5% / 10.8%)	41 (0.6% / 4.4%)
C. 数十m以上の尾行	776 (11.6%)	－ (－ / －)	－ (－ / －)
D. ネット上の個人情報	283 (4.2%)	69 (1.0% / 24.4%)	32 (0.5% / 11.3%)
E. SNS等の不正ログイン	244 (3.6%)	－ (－ / －)	－ (－ / －)
F. 監視を告げられる	229 (3.4%)	58 (0.9% / 25.3%)	22 (0.3% / 9.6%)
G. 指摘・クレーム	706 (10.5%)	－ (－ / －)	－ (－ / －)
H. 無断のGPS等の設置	88 (1.3%)	41 (0.6% / 46.6%)	18 (0.3% / 20.5%)
I. 探偵等の身辺調査	126 (1.9%)	34 (0.5% / 27.0%)	15 (0.2% / 11.9%)
J. 乱暴な言動	619 (9.2%)	96 (1.4% / 15.5%)	43 (0.6% / 6.9%)
K. 電話・メール等	424 (6.3%)	67 (1.0% / 15.8%)	29 (0.4% / 6.8%)
L. SNS上のメッセージ	308 (4.6%)	86 (1.3% / 27.9%)	35 (0.5% / 11.4%)
M. SNS上のコメント	281 (4.2%)	86 (1.3% / 30.6%)	40 (0.6% / 14.2%)
N. 手紙や贈り物の送付	499 (7.4%)	72 (1.1% / 14.4%)	29 (0.4% / 5.8%)
O. 汚物などの送付	54 (0.8%)	27 (0.4% / 50.0%)	8 (0.1% / 14.8%)
P. 名誉を害する行為	395 (5.9%)	80 (1.2% / 20.3%)	38 (0.6% / 9.6%)
Q. 性的羞恥心の侵害	163 (2.4%)	40 (0.6% / 24.5%)	18 (0.3% / 11.0%)
R. その他	221 (3.3%)	－ (－ / －)	－ (－ / －)
どの被害も経験なし	4559 (68.0%)	6393 (95.3% / －)	6528 (97.3% / －)

N=6706. 丸括弧内は, スクリーニング調査対象者における被害経験率, スクリーニング調査対象者における当該時期以降の被害経験率, 当該被害経験者における当該時期以降の被害経験率.

表 2. 男女別・年代別の被害経験

Q12．被害経験（1）	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
A. 面会や交際の要求	325	636	215	243	285	218
	9.6%	19.2%	17.1%	15.9%	14.0%	11.6%
B. つきまとい・待伏等	293	646	199	222	294	224
	8.7%	19.5%	15.8%	14.5%	14.4%	12.0%
C. 数十m以上の尾行	172	604	190	204	221	161
	5.1%	18.2%	15.1%	13.3%	10.8%	8.6%
D. ネット上の個人情報	159	124	98	62	66	57
	4.7%	3.7%	7.8%	4.0%	3.2%	3.0%
E. SNS等の不正ログイン	139	105	82	55	62	45
	4.1%	3.2%	6.5%	3.6%	3.0%	2.4%
F. 監視を告げられる	117	112	66	43	67	53
	3.5%	3.4%	5.2%	2.8%	3.3%	2.8%
G. 指摘・クレーム	374	332	156	156	211	183
	11.0%	10.0%	12.4%	10.2%	10.3%	9.8%
H. 無断のGPS等の設置	60	28	35	24	19	10
	1.8%	0.8%	2.8%	1.6%	0.9%	0.5%
I. 探偵等の身辺調査	79	47	29	24	33	40
	2.3%	1.4%	2.3%	1.6%	1.6%	2.1%
J. 乱暴な言動	303	316	138	138	173	170
	8.9%	9.5%	11.0%	9.0%	8.5%	9.1%
K. 電話・メール等	179	245	90	80	139	115
	5.3%	7.4%	7.1%	5.2%	6.8%	6.1%
L. SNS上のメッセージ	152	156	121	77	62	48
	4.5%	4.7%	9.6%	5.0%	3.0%	2.6%
M. SNS上のコメント	155	126	99	63	68	51
	4.6%	3.8%	7.9%	4.1%	3.3%	2.7%
N. 手紙や贈り物の送付	172	327	89	91	168	151
	5.1%	9.9%	7.1%	5.9%	8.2%	8.1%

Q12．被害経験（2）	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
O. 汚物などの送付	33	21	20	13	12	9
	1.0%	0.6%	1.6%	0.8%	0.6%	0.5%
P. 名誉を害する行為	228	167	92	75	122	106
	6.7%	5.0%	7.3%	4.9%	6.0%	5.7%
Q. 性的羞恥心の侵害	65	98	56	42	39	26
	1.9%	3.0%	4.4%	2.7%	1.9%	1.4%
R. その他	111	110	60	38	58	65
	3.3%	3.3%	4.8%	2.5%	2.8%	3.5%
どの被害も経験なし	2544	2015	786	1026	1414	1333
	75.1%	60.7%	62.4%	67.0%	69.2%	71.2%
度数	3387	3319	1260	1532	2042	1872

N=6706．下段は，スクリーニング調査対象者内の，それぞれの層における被害経験率.

表 3. 被害経験についての認知の一致性

Q12. 被害経験	Q10. 被害経験	
	あり	なし
A. 面会や交際の要求	662	299
	68.9%	31.1%
B. つきまとい・待伏等	738	201
	78.6%	21.4%
C. 数十m以上の尾行	479	297
	61.7%	38.3%
D. ネット上の個人情報	200	83
	70.7%	29.3%
E. SNS等の不正ログイン	140	104
	57.4%	42.6%
F. 監視を告げられる	177	52
	77.3%	22.7%
G. 指摘・クレーム	398	308
	56.4%	43.6%
H. 無断のGPS等の設置	68	20
	77.3%	22.7%
I. 探偵等の身辺調査	84	42
	66.7%	33.3%
J. 乱暴な言動	387	232
	62.5%	37.5%
K. 電話・メール等	309	115
	72.9%	27.1%
L. SNS上のメッセージ	212	96
	68.8%	31.2%
M. SNS上のコメント	189	92
	67.3%	32.7%
N. 手紙や贈り物の送付	330	169
	66.1%	33.9%
O. 汚物などの送付	39	15
	72.2%	27.8%
P. 名誉を害する行為	264	131
	66.8%	33.2%
Q. 性的羞恥心の侵害	127	36
	77.9%	22.1%
R. その他	170	51
	76.9%	23.1%
どの被害も経験なし	21	4538
	0.5%	99.5%
度数	1072	5634

N=6706. 下段は, スクリーニング調査対象者内の, Q12で当該被害を報告した回答におけるQ10の被害経験ありの割合.

表 4. 被害継続期間

	Q14．継続期間（月）		
	度数	平均値	中央値
A. 面会や交際の要求	948	5.92	3
B. つきまとい・待伏等	929	6.61	3
H. 無断のGPS等の設置	86	4.95	3
I. 探偵等の身辺調査	124	3.54	1
L. SNS上のメッセージ	304	6.07	3
M. SNS上のコメント	278	5.33	2

上位1パーセンタイルに属するケースは除外して算出.

表 5. 項目別被害経験の重なり（面会や交際の要求）

D. ネット上の個人情報	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	179 (2.7%)	104 (1.6%)
なし	782 (11.7%)	5641 (84.1%)
E. SNS等の不正ログイン	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	134 (2.0%)	110 (1.6%)
なし	827 (12.3%)	5635 (84.0%)
H. 無断のGPS等の設置	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	75 (1.1%)	13 (0.2%)
なし	886 (13.2%)	5732 (85.5%)
I. 探偵等の身辺調査	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	94 (1.4%)	32 (0.5%)
なし	867 (12.9%)	5713 (85.2%)
L. SNS上のメッセージ	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	205 (3.1%)	103 (1.5%)
なし	756 (11.3%)	5642 (84.1%)
M. SNS上のコメント	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	164 (2.4%)	117 (1.7%)
なし	797 (11.9%)	5628 (83.9%)
N. 手紙や贈り物の送付	A. 面会や交際の要求	
	あり	なし
あり	353 (5.3%)	146 (2.2%)
なし	608 (9.1%)	5599 (83.5%)
度数	5745 (85.7%)	961 (14.3%)

N=6706．上記は全体%，スクリーニング調査対象者内の経験の有無の割合．

表 6. 項目別被害経験の重なり（つきまとい・待伏等）

D. ネット上の個人情報	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	173 (2.6%)	110 (1.6%)
なし	766 (11.4%)	5657 (84.4%)
E. SNS等の不正ログイン	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	139 (2.1%)	105 (1.6%)
なし	800 (11.9%)	5662 (84.4%)
H. 無断のGPS等の設置	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	79 (1.2%)	9 (0.1%)
なし	860 (12.8%)	5758 (85.9%)
I. 探偵等の身辺調査	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	90 (1.3%)	36 (0.5%)
なし	849 (12.7%)	5731 (85.5%)
L. SNS上のメッセージ	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	184 (2.7%)	124 (1.8%)
なし	755 (11.3%)	5643 (84.1%)
M. SNS上のコメント	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	159 (2.4%)	122 (1.8%)
なし	780 (11.6%)	5645 (84.2%)
N. 手紙や贈り物の送付	B. つきまとい・待伏等	
	あり	なし
あり	339 (5.1%)	160 (2.4%)
なし	600 (8.9%)	5607 (83.6%)
度数	5767 (86.0%)	939 (14.0%)

N=6706．上記は全体%，スクリーニング調査対象者内の経験の有無の割合．

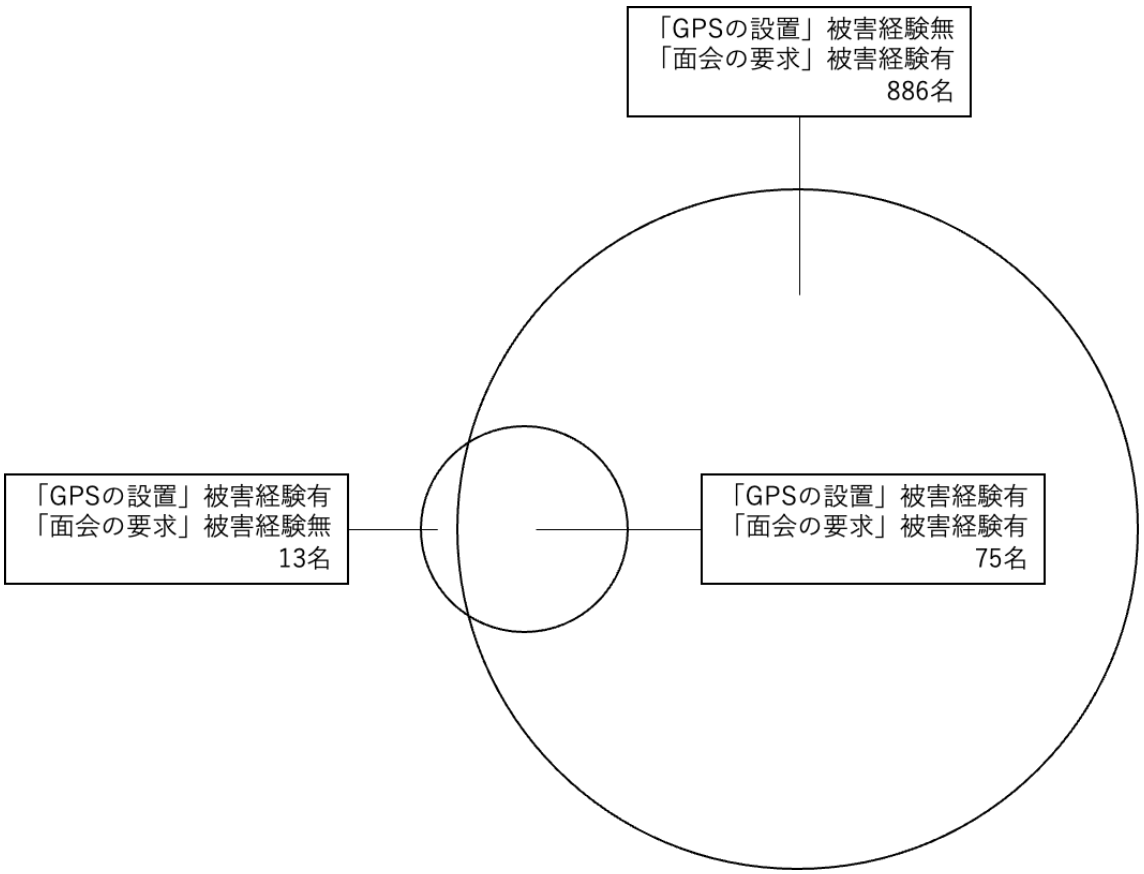

図 1. 被害経験の重なりのベン図（「面会や交際の要求」と「無断の GPS 等の設置」）

表 7. 被害項目ごとの加害者との関係

	Q15．加害者との関係		
	A. 面会の要求	B. つきまとい等	D. ネット個人情報
結婚相手・元結婚相手	22 (2.3%)	18 (1.9%)	4 (1.4%)
交際相手・元交際相手	254 (26.4%)	205 (21.8%)	31 (11.0%)
交際相手や結婚相手の関係者	27 (2.8%)	17 (1.8%)	15 (5.3%)
通っていた学校や大学の関係者	168 (17.5%)	152 (16.2%)	33 (11.7%)
職場やアルバイト先の関係者	233 (24.2%)	174 (18.5%)	31 (11.0%)
職場やアルバイト先の客	98 (10.2%)	117 (12.5%)	23 (8.1%)
SNSなどで知り合った人	85 (8.8%)	44 (4.7%)	59 (20.8%)
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	16 (1.7%)	18 (1.9%)	9 (3.2%)
親の交際相手	4 (0.4%)	7 (0.7%)	4 (1.4%)
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	53 (5.5%)	59 (6.3%)	13 (4.6%)
まったく知らない相手	61 (6.3%)	191 (20.3%)	52 (18.4%)
知っているかどうかもわからない相手	39 (4.1%)	60 (6.4%)	59 (20.8%)
その他	63 (6.6%)	48 (5.1%)	9 (3.2%)
度数	961	939	283

	Q15．加害者との関係		
	F. 監視を告げられる	H. GPS等の設置	I. 探偵等身辺調査
結婚相手・元結婚相手	9 (3.9%)	11 (12.5%)	19 (15.1%)
交際相手・元交際相手	47 (20.5%)	15 (17.0%)	20 (15.9%)
交際相手や結婚相手の関係者	9 (3.9%)	5 (5.7%)	12 (9.5%)
通っていた学校や大学の関係者	19 (8.3%)	9 (10.2%)	9 (7.1%)
職場やアルバイト先の関係者	32 (14.0%)	18 (20.5%)	14 (11.1%)
職場やアルバイト先の客	22 (9.6%)	7 (8.0%)	12 (9.5%)
SNSなどで知り合った人	32 (14.0%)	12 (13.6%)	10 (7.9%)
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	7 (3.1%)	8 (9.1%)	8 (6.3%)
親の交際相手	1 (0.4%)	4 (4.5%)	2 (1.6%)
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	14 (6.1%)	9 (10.2%)	9 (7.1%)
まったく知らない相手	40 (17.5%)	13 (14.8%)	15 (11.9%)
知っているかどうかもわからない相手	33 (14.4%)	10 (11.4%)	15 (11.9%)
その他	11 (4.8%)	2 (2.3%)	5 (4.0%)
度数	229	88	126

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

	Q15．加害者との関係		
	J．乱暴な言動	K. 電話･メール等	L. SNS上メッセージ
結婚相手・元結婚相手	43 (6.9%)	12 (2.8%)	10 (3.2%)
交際相手・元交際相手	116 (18.7%)	89 (21.0%)	46 (14.9%)
交際相手や結婚相手の関係者	14 (2.3%)	21 (5.0%)	12 (3.9%)
通っていた学校や大学の関係者	81 (13.1%)	49 (11.6%)	31 (10.1%)
職場やアルバイト先の関係者	201 (32.5%)	69 (16.3%)	33 (10.7%)
職場やアルバイト先の客	79 (12.8%)	29 (6.8%)	23 (7.5%)
SNSなどで知り合った人	40 (6.5%)	37 (8.7%)	67 (21.8%)
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	42 (6.8%)	11 (2.6%)	11 (3.6%)
親の交際相手	5 (0.8%)	8 (1.9%)	8 (2.6%)
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	39 (6.3%)	24 (5.7%)	13 (4.2%)
まったく知らない相手	44 (7.1%)	53 (12.5%)	54 (17.5%)
知っているかどうかもわからない相手	36 (5.8%)	63 (14.9%)	50 (16.2%)
その他	27 (4.4%)	33 (7.8%)	14 (4.5%)
度数	619	424	308

	Q15．加害者との関係		
	M. SNS上コメント	N. 手紙･贈り物送付	O. 汚物等の送付
結婚相手・元結婚相手	6 (2.1%)	12 (2.4%)	2 (3.7%)
交際相手・元交際相手	30 (10.7%)	86 (17.2%)	5 (9.3%)
交際相手や結婚相手の関係者	9 (3.2%)	12 (2.4%)	5 (9.3%)
通っていた学校や大学の関係者	26 (9.3%)	91 (18.2%)	5 (9.3%)
職場やアルバイト先の関係者	27 (9.6%)	113 (22.6%)	5 (9.3%)
職場やアルバイト先の客	13 (4.6%)	54 (10.8%)	3 (5.6%)
SNSなどで知り合った人	74 (26.3%)	41 (8.2%)	8 (14.8%)
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	3 (1.1%)	12 (2.4%)	5 (9.3%)
親の交際相手	1 (0.4%)	4 (0.8%)	3 (5.6%)
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	18 (6.4%)	36 (7.2%)	12 (22.2%)
まったく知らない相手	68 (24.2%)	45 (9.0%)	6 (11.1%)
知っているかどうかもわからない相手	55 (19.6%)	31 (6.2%)	5 (9.3%)
その他	9 (3.2%)	22 (4.4%)	1 (1.9%)
度数	281	499	54

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

	Q15．加害者との関係		
	P．名誉を害する行為	Q．性的羞恥心の侵害	－
結婚相手・元結婚相手	23 (5.8%)	5 (3.1%)	－ (－)
交際相手・元交際相手	54 (13.7%)	34 (20.9%)	－ (－)
交際相手や結婚相手の関係者	10 (2.5%)	9 (5.5%)	－ (－)
通っていた学校や大学の関係者	52 (13.2%)	22 (13.5%)	－ (－)
職場やアルバイト先の関係者	138 (34.9%)	23 (14.1%)	－ (－)
職場やアルバイト先の客	33 (8.4%)	17 (10.4%)	－ (－)
SNSなどで知り合った人	33 (8.4%)	29 (17.8%)	－ (－)
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	25 (6.3%)	5 (3.1%)	－ (－)
親の交際相手	5 (1.3%)	4 (2.5%)	－ (－)
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	35 (8.9%)	10 (6.1%)	－ (－)
まったく知らない相手	24 (6.1%)	18 (11.0%)	－ (－)
知っているかどうかもわからない相手	40 (10.1%)	19 (11.7%)	－ (－)
その他	22 (5.6%)	1 (0.6%)	－ (－)
度数	395	163	

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

表 8. 男女別・年代別の被害項目ごとの加害者との関係

Q15A. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	7	15	3	6	5	8
	2.2%	2.4%	1.4%	2.5%	1.8%	3.7%
交際相手・元交際相手	86	168	42	64	87	61
	26.5%	26.4%	19.5%	26.3%	30.5%	28.0%
交際相手や結婚相手の関係者	14	13	12	6	5	4
	4.3%	2.0%	5.6%	2.5%	1.8%	1.8%
通っていた学校や大学の関係者	60	108	46	40	51	31
	18.5%	17.0%	21.4%	16.5%	17.9%	14.2%
職場やアルバイト先の関係者	66	167	38	56	70	69
	20.3%	26.3%	17.7%	23.0%	24.6%	31.7%
職場やアルバイト先の客	19	79	25	23	32	18
	5.8%	12.4%	11.6%	9.5%	11.2%	8.3%
SNSなどで知り合った人	35	50	35	20	19	11
	10.8%	7.9%	16.3%	8.2%	6.7%	5.0%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	5	11	6	2	5	3
	1.5%	1.7%	2.8%	0.8%	1.8%	1.4%
親の交際相手	3	1	1	2	1	0
	0.9%	0.2%	0.5%	0.8%	0.4%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	21	32	16	6	19	12
	6.5%	5.0%	7.4%	2.5%	6.7%	5.5%
まったく知らない相手	22	39	13	20	16	12
	6.8%	6.1%	6.0%	8.2%	5.6%	5.5%
知っているかどうかもわからない相手	14	25	6	10	12	11
	4.3%	3.9%	2.8%	4.1%	4.2%	5.0%
その他	15	48	13	16	20	14
	4.6%	7.5%	6.0%	6.6%	7.0%	6.4%
度数	325	636	215	243	285	218

N=961．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15B. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	6	12	2	2	6	8
	2.0%	1.9%	1.0%	0.9%	2.0%	3.6%
交際相手・元交際相手	69	136	32	52	71	50
	23.5%	21.1%	16.1%	23.4%	24.1%	22.3%
交際相手や結婚相手の関係者	8	9	6	4	5	2
	2.7%	1.4%	3.0%	1.8%	1.7%	0.9%
通っていた学校や大学の関係者	46	106	41	33	44	34
	15.7%	16.4%	20.6%	14.9%	15.0%	15.2%
職場やアルバイト先の関係者	60	114	27	35	57	55
	20.5%	17.6%	13.6%	15.8%	19.4%	24.6%
職場やアルバイト先の客	27	90	33	30	33	21
	9.2%	13.9%	16.6%	13.5%	11.2%	9.4%
SNSなどで知り合った人	24	20	16	9	11	8
	8.2%	3.1%	8.0%	4.1%	3.7%	3.6%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	9	9	8	1	6	3
	3.1%	1.4%	4.0%	0.5%	2.0%	1.3%
親の交際相手	7	0	4	2	1	0
	2.4%	0.0%	2.0%	0.9%	0.3%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	24	35	9	9	23	18
	8.2%	5.4%	4.5%	4.1%	7.8%	8.0%
まったく知らない相手	40	151	46	52	61	32
	13.7%	23.4%	23.1%	23.4%	20.7%	14.3%
知っているかどうかもわからない相手	22	38	15	17	19	9
	7.5%	5.9%	7.5%	7.7%	6.5%	4.0%
その他	16	32	6	10	16	16
	5.5%	5.0%	3.0%	4.5%	5.4%	7.1%
度数	293	646	199	222	294	224

N=939．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15D. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	3	1	1	0	2	1
	1.9%	0.8%	1.0%	0.0%	3.0%	1.8%
交際相手・元交際相手	20	11	12	8	7	4
	12.6%	8.9%	12.2%	12.9%	10.6%	7.0%
交際相手や結婚相手の関係者	8	7	7	5	2	1
	5.0%	5.6%	7.1%	8.1%	3.0%	1.8%
通っていた学校や大学の関係者	16	17	18	7	5	3
	10.1%	13.7%	18.4%	11.3%	7.6%	5.3%
職場やアルバイト先の関係者	19	12	11	4	8	8
	11.9%	9.7%	11.2%	6.5%	12.1%	14.0%
職場やアルバイト先の客	15	8	13	5	3	2
	9.4%	6.5%	13.3%	8.1%	4.5%	3.5%
SNSなどで知り合った人	29	30	19	9	20	11
	18.2%	24.2%	19.4%	14.5%	30.3%	19.3%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	5	4	6	0	1	2
	3.1%	3.2%	6.1%	0.0%	1.5%	3.5%
親の交際相手	1	3	4	0	0	0
	0.6%	2.4%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	6	7	4	1	3	5
	3.8%	5.6%	4.1%	1.6%	4.5%	8.8%
まったく知らない相手	33	19	14	11	15	12
	20.8%	15.3%	14.3%	17.7%	22.7%	21.1%
知っているかどうかもわからない相手	32	27	11	14	16	18
	20.1%	21.8%	11.2%	22.6%	24.2%	31.6%
その他	3	6	2	2	5	0
	1.9%	4.8%	2.0%	3.2%	7.6%	0.0%
度数	159	124	98	62	66	57

N=283．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15F. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	4	5	1	2	2	4
	3.4%	4.5%	1.5%	4.7%	3.0%	7.5%
交際相手・元交際相手	25	22	17	6	17	7
	21.4%	19.6%	25.8%	14.0%	25.4%	13.2%
交際相手や結婚相手の関係者	7	2	3	2	3	1
	6.0%	1.8%	4.5%	4.7%	4.5%	1.9%
通っていた学校や大学の関係者	7	12	7	7	3	2
	6.0%	10.7%	10.6%	16.3%	4.5%	3.8%
職場やアルバイト先の関係者	16	16	3	6	9	14
	13.7%	14.3%	4.5%	14.0%	13.4%	26.4%
職場やアルバイト先の客	9	13	9	5	4	4
	7.7%	11.6%	13.6%	11.6%	6.0%	7.5%
SNSなどで知り合った人	19	13	15	1	14	2
	16.2%	11.6%	22.7%	2.3%	20.9%	3.8%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	2	5	3	1	1	2
	1.7%	4.5%	4.5%	2.3%	1.5%	3.8%
親の交際相手	1	0	1	0	0	0
	0.9%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	8	6	3	1	4	6
	6.8%	5.4%	4.5%	2.3%	6.0%	11.3%
まったく知らない相手	24	16	7	9	11	13
	20.5%	14.3%	10.6%	20.9%	16.4%	24.5%
知っているかどうかもわからない相手	11	22	5	6	13	9
	9.4%	19.6%	7.6%	14.0%	19.4%	17.0%
その他	6	5	2	2	5	2
	5.1%	4.5%	3.0%	4.7%	7.5%	3.8%
度数	117	112	66	43	67	53

N=229．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15H. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	10	1	3	2	4	2
	16.7%	3.6%	8.6%	8.3%	21.1%	20.0%
交際相手・元交際相手	9	6	7	3	3	2
	15.0%	21.4%	20.0%	12.5%	15.8%	20.0%
交際相手や結婚相手の関係者	3	2	3	2	0	0
	5.0%	7.1%	8.6%	8.3%	0.0%	0.0%
通っていた学校や大学の関係者	6	3	5	2	2	0
	10.0%	10.7%	14.3%	8.3%	10.5%	0.0%
職場やアルバイト先の関係者	9	9	7	6	4	1
	15.0%	32.1%	20.0%	25.0%	21.1%	10.0%
職場やアルバイト先の客	5	2	5	2	0	0
	8.3%	7.1%	14.3%	8.3%	0.0%	0.0%
SNSなどで知り合った人	9	3	6	2	3	1
	15.0%	10.7%	17.1%	8.3%	15.8%	10.0%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	5	3	6	1	1	0
	8.3%	10.7%	17.1%	4.2%	5.3%	0.0%
親の交際相手	3	1	1	1	1	1
	5.0%	3.6%	2.9%	4.2%	5.3%	10.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	5	4	3	1	1	4
	8.3%	14.3%	8.6%	4.2%	5.3%	40.0%
まったく知らない相手	11	2	4	4	3	2
	18.3%	7.1%	11.4%	16.7%	15.8%	20.0%
知っているかどうかもわからない相手	4	6	1	4	2	3
	6.7%	21.4%	2.9%	16.7%	10.5%	30.0%
その他	1	1	0	0	2	0
	1.7%	3.6%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%
度数	60	28	35	24	19	10

N=88．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15I. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	15	4	6	1	4	8
	19.0%	8.5%	20.7%	4.2%	12.1%	20.0%
交際相手・元交際相手	12	8	3	3	5	9
	15.2%	17.0%	10.3%	12.5%	15.2%	22.5%
交際相手や結婚相手の関係者	6	6	3	2	2	5
	7.6%	12.8%	10.3%	8.3%	6.1%	12.5%
通っていた学校や大学の関係者	7	2	3	3	3	0
	8.9%	4.3%	10.3%	12.5%	9.1%	0.0%
職場やアルバイト先の関係者	7	7	3	5	3	3
	8.9%	14.9%	10.3%	20.8%	9.1%	7.5%
職場やアルバイト先の客	7	5	4	2	4	2
	8.9%	10.6%	13.8%	8.3%	12.1%	5.0%
SNSなどで知り合った人	6	4	6	2	1	1
	7.6%	8.5%	20.7%	8.3%	3.0%	2.5%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	5	3	4	1	1	2
	6.3%	6.4%	13.8%	4.2%	3.0%	5.0%
親の交際相手	2	0	0	0	1	1
	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	2.5%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	5	4	3	0	2	4
	6.3%	8.5%	10.3%	0.0%	6.1%	10.0%
まったく知らない相手	12	3	3	3	5	4
	15.2%	6.4%	10.3%	12.5%	15.2%	10.0%
知っているかどうかもわからない相手	6	9	1	3	6	5
	7.6%	19.1%	3.4%	12.5%	18.2%	12.5%
その他	3	2	0	0	2	3
	3.8%	4.3%	0.0%	0.0%	6.1%	7.5%
度数	79	47	29	24	33	40

N=126．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15J．加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	9	34	3	8	16	16
	3.0%	10.8%	2.2%	5.8%	9.2%	9.4%
交際相手・元交際相手	26	90	25	33	40	18
	8.6%	28.5%	18.1%	23.9%	23.1%	10.6%
交際相手や結婚相手の関係者	5	9	5	1	4	4
	1.7%	2.8%	3.6%	0.7%	2.3%	2.4%
通っていた学校や大学の関係者	46	35	31	13	24	13
	15.2%	11.1%	22.5%	9.4%	13.9%	7.6%
職場やアルバイト先の関係者	119	82	23	51	58	69
	39.3%	25.9%	16.7%	37.0%	33.5%	40.6%
職場やアルバイト先の客	44	35	20	21	17	21
	14.5%	11.1%	14.5%	15.2%	9.8%	12.4%
SNSなどで知り合った人	19	21	15	10	9	6
	6.3%	6.6%	10.9%	7.2%	5.2%	3.5%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	10	32	10	7	17	8
	3.3%	10.1%	7.2%	5.1%	9.8%	4.7%
親の交際相手	2	3	4	0	1	0
	0.7%	0.9%	2.9%	0.0%	0.6%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	25	14	9	5	16	9
	8.3%	4.4%	6.5%	3.6%	9.2%	5.3%
まったく知らない相手	29	15	10	8	18	8
	9.6%	4.7%	7.2%	5.8%	10.4%	4.7%
知っているかどうかもわからない相手	21	15	6	6	11	13
	6.9%	4.7%	4.3%	4.3%	6.4%	7.6%
その他	13	14	6	2	7	12
	4.3%	4.4%	4.3%	1.4%	4.0%	7.1%
度数	303	316	138	138	173	170

N=619．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15K. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	6	6	2	0	5	5
	3.4%	2.4%	2.2%	0.0%	3.6%	4.3%
交際相手・元交際相手	36	53	14	21	35	19
	20.1%	21.6%	15.6%	26.3%	25.2%	16.5%
交際相手や結婚相手の関係者	9	12	7	4	5	5
	5.0%	4.9%	7.8%	5.0%	3.6%	4.3%
通っていた学校や大学の関係者	20	29	18	10	14	7
	11.2%	11.8%	20.0%	12.5%	10.1%	6.1%
職場やアルバイト先の関係者	28	41	13	12	22	22
	15.6%	16.7%	14.4%	15.0%	15.8%	19.1%
職場やアルバイト先の客	17	12	10	3	10	6
	9.5%	4.9%	11.1%	3.8%	7.2%	5.2%
SNSなどで知り合った人	14	23	15	7	9	6
	7.8%	9.4%	16.7%	8.8%	6.5%	5.2%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	3	8	4	1	4	2
	1.7%	3.3%	4.4%	1.3%	2.9%	1.7%
親の交際相手	6	2	3	1	3	1
	3.4%	0.8%	3.3%	1.3%	2.2%	0.9%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	10	14	4	3	9	8
	5.6%	5.7%	4.4%	3.8%	6.5%	7.0%
まったく知らない相手	28	25	8	9	19	17
	15.6%	10.2%	8.9%	11.3%	13.7%	14.8%
知っているかどうかもわからない相手	24	39	8	9	19	27
	13.4%	15.9%	8.9%	11.3%	13.7%	23.5%
その他	10	23	6	6	13	8
	5.6%	9.4%	6.7%	7.5%	9.4%	7.0%
度数	179	245	90	80	139	115

N=424．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15L. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	5	5	1	0	5	4
	3.3%	3.2%	0.8%	0.0%	8.1%	8.3%
交際相手・元交際相手	24	22	15	16	11	4
	15.8%	14.1%	12.4%	20.8%	17.7%	8.3%
交際相手や結婚相手の関係者	4	8	6	3	2	1
	2.6%	5.1%	5.0%	3.9%	3.2%	2.1%
通っていた学校や大学の関係者	16	15	21	4	6	0
	10.5%	9.6%	17.4%	5.2%	9.7%	0.0%
職場やアルバイト先の関係者	18	15	14	6	9	4
	11.8%	9.6%	11.6%	7.8%	14.5%	8.3%
職場やアルバイト先の客	13	10	11	4	6	2
	8.6%	6.4%	9.1%	5.2%	9.7%	4.2%
SNSなどで知り合った人	28	39	22	16	14	15
	18.4%	25.0%	18.2%	20.8%	22.6%	31.3%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	6	5	9	1	0	1
	3.9%	3.2%	7.4%	1.3%	0.0%	2.1%
親の交際相手	6	2	4	4	0	0
	3.9%	1.3%	3.3%	5.2%	0.0%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	6	7	5	0	4	4
	3.9%	4.5%	4.1%	0.0%	6.5%	8.3%
まったく知らない相手	31	23	20	16	10	8
	20.4%	14.7%	16.5%	20.8%	16.1%	16.7%
知っているかどうかもわからない相手	23	27	16	13	11	10
	15.1%	17.3%	13.2%	16.9%	17.7%	20.8%
その他	2	12	5	4	4	1
	1.3%	7.7%	4.1%	5.2%	6.5%	2.1%
度数	152	156	121	77	62	48

N=308．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15M. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	3	3	2	0	2	2
	1.9%	2.4%	2.0%	0.0%	2.9%	3.9%
交際相手・元交際相手	19	11	11	5	9	5
	12.3%	8.7%	11.1%	7.9%	13.2%	9.8%
交際相手や結婚相手の関係者	4	5	5	1	2	1
	2.6%	4.0%	5.1%	1.6%	2.9%	2.0%
通っていた学校や大学の関係者	16	10	14	6	4	2
	10.3%	7.9%	14.1%	9.5%	5.9%	3.9%
職場やアルバイト先の関係者	18	9	8	5	10	4
	11.6%	7.1%	8.1%	7.9%	14.7%	7.8%
職場やアルバイト先の客	6	7	7	2	3	1
	3.9%	5.6%	7.1%	3.2%	4.4%	2.0%
SNSなどで知り合った人	37	37	26	11	19	18
	23.9%	29.4%	26.3%	17.5%	27.9%	35.3%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	3	0	2	0	0	1
	1.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%
親の交際相手	0	1	1	0	0	0
	0.0%	0.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	9	9	7	3	5	3
	5.8%	7.1%	7.1%	4.8%	7.4%	5.9%
まったく知らない相手	38	30	19	22	17	10
	24.5%	23.8%	19.2%	34.9%	25.0%	19.6%
知っているかどうかもわからない相手	25	30	19	12	14	10
	16.1%	23.8%	19.2%	19.0%	20.6%	19.6%
その他	4	5	2	3	4	0
	2.6%	4.0%	2.0%	4.8%	5.9%	0.0%
度数	155	126	99	63	68	51

N=281．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15N. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	4	8	3	2	2	5
	2.3%	2.4%	3.4%	2.2%	1.2%	3.3%
交際相手・元交際相手	32	54	7	15	36	28
	18.6%	16.5%	7.9%	16.5%	21.4%	18.5%
交際相手や結婚相手の関係者	7	5	5	0	2	5
	4.1%	1.5%	5.6%	0.0%	1.2%	3.3%
通っていた学校や大学の関係者	25	66	20	17	32	22
	14.5%	20.2%	22.5%	18.7%	19.0%	14.6%
職場やアルバイト先の関係者	29	84	16	21	40	36
	16.9%	25.7%	18.0%	23.1%	23.8%	23.8%
職場やアルバイト先の客	14	40	11	11	18	14
	8.1%	12.2%	12.4%	12.1%	10.7%	9.3%
SNSなどで知り合った人	15	26	19	6	7	9
	8.7%	8.0%	21.3%	6.6%	4.2%	6.0%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	7	5	2	2	7	1
	4.1%	1.5%	2.2%	2.2%	4.2%	0.7%
親の交際相手	3	1	2	1	0	1
	1.7%	0.3%	2.2%	1.1%	0.0%	0.7%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	11	25	3	4	15	14
	6.4%	7.6%	3.4%	4.4%	8.9%	9.3%
まったく知らない相手	25	20	8	14	12	11
	14.5%	6.1%	9.0%	15.4%	7.1%	7.3%
知っているかどうかもわからない相手	13	18	4	5	11	11
	7.6%	5.5%	4.5%	5.5%	6.5%	7.3%
その他	6	16	1	2	8	11
	3.5%	4.9%	1.1%	2.2%	4.8%	7.3%
度数	172	327	89	91	168	151

N=499．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15O. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	2	0	1	0	0	1
	6.1%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	11.1%
交際相手・元交際相手	2	3	3	0	1	1
	6.1%	14.3%	15.0%	0.0%	8.3%	11.1%
交際相手や結婚相手の関係者	4	1	3	1	1	0
	12.1%	4.8%	15.0%	7.7%	8.3%	0.0%
通っていた学校や大学の関係者	2	3	2	2	1	0
	6.1%	14.3%	10.0%	15.4%	8.3%	0.0%
職場やアルバイト先の関係者	4	1	2	1	1	1
	12.1%	4.8%	10.0%	7.7%	8.3%	11.1%
職場やアルバイト先の客	0	3	1	0	1	1
	0.0%	14.3%	5.0%	0.0%	8.3%	11.1%
SNSなどで知り合った人	2	6	6	1	1	0
	6.1%	28.6%	30.0%	7.7%	8.3%	0.0%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	4	1	2	1	1	1
	12.1%	4.8%	10.0%	7.7%	8.3%	11.1%
親の交際相手	2	1	2	0	1	0
	6.1%	4.8%	10.0%	0.0%	8.3%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	8	4	3	3	3	3
	24.2%	19.0%	15.0%	23.1%	25.0%	33.3%
まったく知らない相手	5	1	1	3	1	1
	15.2%	4.8%	5.0%	23.1%	8.3%	11.1%
知っているかどうかもわからない相手	1	4	0	1	1	3
	3.0%	19.0%	0.0%	7.7%	8.3%	33.3%
その他	1	0	0	0	1	0
	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
度数	33	21	20	13	12	9

N=54．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15P. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	7	16	2	2	9	10
	3.1%	9.6%	2.2%	2.7%	7.4%	9.4%
交際相手・元交際相手	20	34	15	13	17	9
	8.8%	20.4%	16.3%	17.3%	13.9%	8.5%
交際相手や結婚相手の関係者	5	5	2	1	5	2
	2.2%	3.0%	2.2%	1.3%	4.1%	1.9%
通っていた学校や大学の関係者	32	20	23	9	13	7
	14.0%	12.0%	25.0%	12.0%	10.7%	6.6%
職場やアルバイト先の関係者	83	55	19	26	48	45
	36.4%	32.9%	20.7%	34.7%	39.3%	42.5%
職場やアルバイト先の客	19	14	11	8	6	8
	8.3%	8.4%	12.0%	10.7%	4.9%	7.5%
SNSなどで知り合った人	19	14	13	3	12	5
	8.3%	8.4%	14.1%	4.0%	9.8%	4.7%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	10	15	7	3	10	5
	4.4%	9.0%	7.6%	4.0%	8.2%	4.7%
親の交際相手	3	2	3	1	1	0
	1.3%	1.2%	3.3%	1.3%	0.8%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	19	16	3	5	15	12
	8.3%	9.6%	3.3%	6.7%	12.3%	11.3%
まったく知らない相手	16	8	4	9	5	6
	7.0%	4.8%	4.3%	12.0%	4.1%	5.7%
知っているかどうかもわからない相手	25	15	9	6	10	15
	11.0%	9.0%	9.8%	8.0%	8.2%	14.2%
その他	15	7	4	6	7	5
	6.6%	4.2%	4.3%	8.0%	5.7%	4.7%
度数	228	167	92	75	122	106

N=395．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

Q15Q. 加害者との関係	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
結婚相手・元結婚相手	3	2	2	0	0	3
	4.6%	2.0%	3.6%	0.0%	0.0%	11.5%
交際相手・元交際相手	13	21	8	9	13	4
	20.0%	21.4%	14.3%	21.4%	33.3%	15.4%
交際相手や結婚相手の関係者	5	4	4	1	4	0
	7.7%	4.1%	7.1%	2.4%	10.3%	0.0%
通っていた学校や大学の関係者	12	10	10	5	3	4
	18.5%	10.2%	17.9%	11.9%	7.7%	15.4%
職場やアルバイト先の関係者	4	19	5	9	6	3
	6.2%	19.4%	8.9%	21.4%	15.4%	11.5%
職場やアルバイト先の客	13	4	7	2	6	2
	20.0%	4.1%	12.5%	4.8%	15.4%	7.7%
SNSなどで知り合った人	11	18	13	7	7	2
	16.9%	18.4%	23.2%	16.7%	17.9%	7.7%
親・親戚・兄弟姉妹などの親族	3	2	5	0	0	0
	4.6%	2.0%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%
親の交際相手	3	1	2	1	1	0
	4.6%	1.0%	3.6%	2.4%	2.6%	0.0%
近隣の住民、地域活動や習い事の関係者	3	7	2	1	2	5
	4.6%	7.1%	3.6%	2.4%	5.1%	19.2%
まったく知らない相手	5	13	7	4	4	3
	7.7%	13.3%	12.5%	9.5%	10.3%	11.5%
知っているかどうかもわからない相手	4	15	5	5	4	5
	6.2%	15.3%	8.9%	11.9%	10.3%	19.2%
その他	1	0	1	0	0	0
	1.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
度数	65	98	56	42	39	26

N=163．下段は，それぞれの層において特定の加害者からの被害を受けた者の割合．

表 9. 相談相手・機関

	Q16．相談相手・機関
友人・知人	864 (47.4%)
家族・親戚	548 (30.1%)
職場・アルバイトの関係者（上司・部下、取引先・雇用先など）	411 (22.6%)
大家・管理会社・地主	22 (1.2%)
駅員・警備員	14 (0.8%)
警察	205 (11.3%)
医療関係者（医師、看護師など）	33 (1.8%)
民間の専門家や専門機関（弁護士、探偵など）	53 (2.9%)
NPO法人	12 (0.7%)
カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど	41 (2.3%)
学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）	46 (2.5%)
その他の公的な機関（市役所、相談支援センターなど）	43 (2.4%)
インターネット上で相談した（SNS、ブログ、掲示板など）	55 (3.0%)
その他	16 (0.9%)
どこ（だれ）にも相談しなかった	537 (29.5%)

N=1821．丸括弧内は，本調査対象者における割合．

表 10. 男女別・年代別の相談相手・機関

Q16. 相談相手・機関	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
友人・知人	256	608	209	229	242	184
	35.9%	54.9%	52.9%	52.8%	45.6%	39.9%
家族・親戚	154	394	129	135	152	132
	21.6%	35.6%	32.7%	31.1%	28.6%	28.6%
職場・アルバイトの関係者	155	256	75	97	142	97
（上司・部下、取引先・雇用先など）	21.7%	23.1%	19.0%	22.4%	26.7%	21.0%
大家・管理会社・地主	11	11	4	7	7	4
	1.5%	1.0%	1.0%	1.6%	1.3%	0.9%
駅員・警備員	5	9	5	2	5	2
	0.7%	0.8%	1.3%	0.5%	0.9%	0.4%
警察	72	133	36	42	72	55
	10.1%	12.0%	9.1%	9.7%	13.6%	11.9%
医療関係者	18	15	4	7	15	7
（医師、看護師など）	2.5%	1.4%	1.0%	1.6%	2.8%	1.5%
民間の専門家や専門機関	28	25	13	9	14	17
（弁護士、探偵など）	3.9%	2.3%	3.3%	2.1%	2.6%	3.7%
NPO法人	4	8	3	3	4	2
	0.6%	0.7%	0.8%	0.7%	0.8%	0.4%
カウンセラー・カウンセリング機関、	19	22	10	9	10	12
民間シェルターなど	2.7%	2.0%	2.5%	2.1%	1.9%	2.6%
学校関係者（教員、養護教諭、	20	26	22	10	11	3
スクールカウンセラーなど）	2.8%	2.3%	5.6%	2.3%	2.1%	0.7%
その他の公的な機関	17	26	10	10	15	8
（市役所、相談支援センターなど）	2.4%	2.3%	2.5%	2.3%	2.8%	1.7%
インターネット上で相談した	28	27	11	14	19	11
（SNS、ブログ、掲示板など）	3.9%	2.4%	2.8%	3.2%	3.6%	2.4%
その他	6	10	4	0	6	6
	0.8%	0.9%	1.0%	0.0%	1.1%	1.3%
どこ（だれ）にも相談しなかった	275	262	101	120	163	153
	38.5%	23.7%	25.6%	27.6%	30.7%	33.2%
度数	714	1107	395	434	531	461

N=1821．下段は，それぞれの層において特定の相手・機関に被害を相談した者の割合．

表 11. 被害項目ごとの相談の有無・相談の結果

	Q17．相談の有無・相談の結果		
	A. 面会の要求	B. つきまとい等	D. ネット個人情報
相談を検討していない	259 (27.0%)	241 (25.7%)	87 (30.7%)
相談を諦めた	102 (10.6%)	105 (11.2%)	56 (19.8%)
相談をした	600 (62.4%)	593 (63.2%)	140 (49.5%)
相談したが解決しなかった	246 (41.0%)	268 (45.2%)	79 (56.4%)
相談して解決した	354 (59.0%)	325 (54.8%)	61 (43.6%)
度数	961	939	283

	Q17．相談の有無・相談の結果		
	F. 監視を告げられる	H. GPS等の設置	I. 探偵等身辺調査
相談を検討していない	57 (24.9%)	14 (15.9%)	44 (34.9%)
相談を諦めた	43 (18.8%)	14 (15.9%)	18 (14.3%)
相談をした	129 (56.3%)	60 (68.2%)	64 (50.8%)
相談したが解決しなかった	66 (51.2%)	31 (51.7%)	26 (40.6%)
相談して解決した	63 (48.8%)	29 (48.3%)	38 (59.4%)
度数	229	88	126

	Q17．相談の有無・相談の結果		
	J．乱暴な言動	K. 電話・メール等	L. SNS上メッセージ
相談を検討していない	145 (23.4%)	109 (25.7%)	85 (27.6%)
相談を諦めた	103 (16.6%)	62 (14.6%)	55 (17.9%)
相談をした	371 (59.9%)	253 (59.7%)	168 (54.5%)
相談したが解決しなかった	220 (59.3%)	137 (54.2%)	90 (53.6%)
相談して解決した	151 (40.7%)	116 (45.8%)	78 (46.4%)
度数	619	424	308

上段3列の丸括弧内は，それぞれの被害経験者内の割合．下段2列の丸括弧内は，相談者内の割合．

	Q17．相談の有無・相談の結果		
	M. SNS上コメント	N. 手紙・贈り物送付	O. 汚物等の送付
相談を検討していない	88 (31.3%)	149 (29.9%)	12 (22.2%)
相談を諦めた	45 (16.0%)	53 (10.6%)	9 (16.7%)
相談をした	148 (52.7%)	297 (59.5%)	33 (61.1%)
相談したが解決しなかった	83 (56.1%)	134 (45.1%)	22 (66.7%)
相談して解決した	65 (43.9%)	163 (54.9%)	11 (33.3%)
度数	281	499	54

	Q17．相談の有無・相談の結果		
	P. 名誉を害する行為	Q. 性的羞恥心の侵害	－
相談を検討していない	88 (22.3%)	50 (30.7%)	－ (－)
相談を諦めた	63 (15.9%)	23 (14.1%)	－ (－)
相談をした	244 (61.8%)	90 (55.2%)	－ (－)
相談したが解決しなかった	167 (68.4%)	48 (53.3%)	－ (－)
相談して解決した	77 (31.6%)	42 (46.7%)	－ (－)
度数	395	163	

上段3列の丸括弧内は，それぞれの被害経験者内の割合．下段2列の丸括弧内は，相談者内の割合．

表 12. 男女別・年代別の被害項目ごとの相談の有無・相談の結果

Q17A. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	96	163	51	65	78	65
	29.5%	25.6%	23.7%	26.7%	27.4%	29.8%
相談を諦めた	48	54	28	27	22	25
	14.8%	8.5%	13.0%	11.1%	7.7%	11.5%
相談をした	181	419	136	151	185	128
	55.7%	65.9%	63.3%	62.1%	64.9%	58.7%
相談したが解決しなかった	73	173	62	65	65	54
	40.3%	41.3%	45.6%	43.0%	35.1%	42.2%
相談して解決した	108	246	74	86	120	74
	59.7%	58.7%	54.4%	57.0%	64.9%	57.8%
度数	325	636	215	243	285	218

N=961．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17B. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	83	158	37	50	90	64
	28.3%	24.5%	18.6%	22.5%	30.6%	28.6%
相談を諦めた	40	65	27	28	24	26
	13.7%	10.1%	13.6%	12.6%	8.2%	11.6%
相談をした	170	423	135	144	180	134
	58.0%	65.5%	67.8%	64.9%	61.2%	59.8%
相談したが解決しなかった	85	183	66	66	75	61
	50.0%	43.3%	48.9%	45.8%	41.7%	45.5%
相談して解決した	85	240	69	78	105	73
	50.0%	56.7%	51.1%	54.2%	58.3%	54.5%
度数	293	646	199	222	294	224

N=939．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17D. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	49	38	29	16	21	21
	30.8%	30.6%	29.6%	25.8%	31.8%	36.8%
相談を諦めた	30	26	19	17	13	7
	18.9%	21.0%	19.4%	27.4%	19.7%	12.3%
相談をした	80	60	50	29	32	29
	50.3%	48.4%	51.0%	46.8%	48.5%	50.9%
相談したが解決しなかった	42	37	29	14	16	20
	52.5%	61.7%	58.0%	48.3%	50.0%	69.0%
相談して解決した	38	23	21	15	16	9
	47.5%	38.3%	42.0%	51.7%	50.0%	31.0%
度数	159	124	98	62	66	57

N=283．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17F. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	27	30	15	13	14	15
	23.1%	26.8%	22.7%	30.2%	20.9%	28.3%
相談を諦めた	25	18	14	5	12	12
	21.4%	16.1%	21.2%	11.6%	17.9%	22.6%
相談をした	65	64	37	25	41	26
	55.6%	57.1%	56.1%	58.1%	61.2%	49.1%
相談したが解決しなかった	34	32	21	14	15	16
	52.3%	50.0%	56.8%	56.0%	36.6%	61.5%
相談して解決した	31	32	16	11	26	10
	47.7%	50.0%	43.2%	44.0%	63.4%	38.5%
度数	117	112	66	43	67	53

N=229．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17H. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	10	4	3	7	4	0
	16.7%	14.3%	8.6%	29.2%	21.1%	0.0%
相談を諦めた	11	3	5	4	3	2
	18.3%	10.7%	14.3%	16.7%	15.8%	20.0%
相談をした	39	21	27	13	12	8
	65.0%	75.0%	77.1%	54.2%	63.2%	80.0%
相談したが解決しなかった	17	14	15	6	4	6
	43.6%	66.7%	55.6%	46.2%	33.3%	75.0%
相談して解決した	22	7	12	7	8	2
	56.4%	33.3%	44.4%	53.8%	66.7%	25.0%
度数	60	28	35	24	19	10

N=88．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17I. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	29	15	5	9	9	21
	36.7%	31.9%	17.2%	37.5%	27.3%	52.5%
相談を諦めた	11	7	6	1	6	5
	13.9%	14.9%	20.7%	4.2%	18.2%	12.5%
相談をした	39	25	18	14	18	14
	49.4%	53.2%	62.1%	58.3%	54.5%	35.0%
相談したが解決しなかった	18	8	7	9	5	5
	46.2%	32.0%	38.9%	64.3%	27.8%	35.7%
相談して解決した	21	17	11	5	13	9
	53.8%	68.0%	61.1%	35.7%	72.2%	64.3%
度数	79	47	29	24	33	40

N=126．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17J．相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	79	66	31	32	42	40
	26.1%	20.9%	22.5%	23.2%	24.3%	23.5%
相談を諦めた	50	53	26	20	29	28
	16.5%	16.8%	18.8%	14.5%	16.8%	16.5%
相談をした	174	197	81	86	102	102
	57.4%	62.3%	58.7%	62.3%	59.0%	60.0%
相談したが解決しなかった	104	116	50	45	63	62
	59.8%	58.9%	61.7%	52.3%	61.8%	60.8%
相談して解決した	70	81	31	41	39	40
	40.2%	41.1%	38.3%	47.7%	38.2%	39.2%
度数	303	316	138	138	173	170

N=619．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17K．相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	54	55	17	22	38	32
	30.2%	22.4%	18.9%	27.5%	27.3%	27.8%
相談を諦めた	27	35	15	10	15	22
	15.1%	14.3%	16.7%	12.5%	10.8%	19.1%
相談をした	98	155	58	48	86	61
	54.7%	63.3%	64.4%	60.0%	61.9%	53.0%
相談したが解決しなかった	54	83	35	27	37	38
	55.1%	53.5%	60.3%	56.3%	43.0%	62.3%
相談して解決した	44	72	23	21	49	23
	44.9%	46.5%	39.7%	43.8%	57.0%	37.7%
度数	179	245	90	80	139	115

N=424．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17N. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	54	95	18	17	55	59
	31.4%	29.1%	20.2%	18.7%	32.7%	39.1%
相談を諦めた	18	35	14	9	17	13
	10.5%	10.7%	15.7%	9.9%	10.1%	8.6%
相談をした	100	197	57	65	96	79
	58.1%	60.2%	64.0%	71.4%	57.1%	52.3%
相談したが解決しなかった	53	81	31	27	35	41
	53.0%	41.1%	54.4%	41.5%	36.5%	51.9%
相談して解決した	47	116	26	38	61	38
	47.0%	58.9%	45.6%	58.5%	63.5%	48.1%
度数	172	327	89	91	168	151

N=499．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17O. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	9	3	4	4	2	2
	27.3%	14.3%	20.0%	30.8%	16.7%	22.2%
相談を諦めた	5	4	4	1	2	2
	15.2%	19.0%	20.0%	7.7%	16.7%	22.2%
相談をした	19	14	12	8	8	5
	57.6%	66.7%	60.0%	61.5%	66.7%	55.6%
相談したが解決しなかった	9	13	9	5	4	4
	47.4%	92.9%	75.0%	62.5%	50.0%	80.0%
相談して解決した	10	1	3	3	4	1
	52.6%	7.1%	25.0%	37.5%	50.0%	20.0%
度数	33	21	20	13	12	9

N=54．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

Q17P. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	57	31	24	15	27	22
	25.0%	18.6%	26.1%	20.0%	22.1%	20.8%
相談を諦めた	34	29	11	12	15	25
	14.9%	17.4%	12.0%	16.0%	12.3%	23.6%
相談をした	137	107	57	48	80	59
	60.1%	64.1%	62.0%	64.0%	65.6%	55.7%
相談したが解決しなかった	94	73	40	31	52	44
	68.6%	68.2%	70.2%	64.6%	65.0%	74.6%
相談して解決した	43	34	17	17	28	15
	31.4%	31.8%	29.8%	35.4%	35.0%	25.4%
度数	228	167	92	75	122	106

N=395．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

問17Q. 相談の有無・結果	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談を検討していない	12	38	17	14	11	8
	18.5%	38.8%	30.4%	33.3%	28.2%	30.8%
相談を諦めた	4	19	9	5	5	4
	6.2%	19.4%	16.1%	11.9%	12.8%	15.4%
相談をした	49	41	30	23	23	14
	75.4%	41.8%	53.6%	54.8%	59.0%	53.8%
相談したが解決しなかった	28	20	18	10	9	11
	57.1%	48.8%	60.0%	43.5%	39.1%	78.6%
相談して解決した	21	21	12	13	14	3
	42.9%	51.2%	40.0%	56.5%	60.9%	21.4%
度数	65	98	56	42	39	26

N=163．上3列の%は，被害経験者内の相談の有無の割合．下2列の%は，相談者内の結果の割合．

表 13. 被害項目ごとの相談しなかった・解決しなかった理由

	Q18．相談しなかった・解決しなかった理由		
	A. 面会の要求	B. つきまとい等	D. ネット個人情報
対策が上手くいかなかった	94 (15.5%)	86 (14.0%)	26 (11.7%)
被害が軽微であると断られた	33 (5.4%)	40 (6.5%)	12 (5.4%)
管轄外であると断られた	10 (1.6%)	14 (2.3%)	12 (5.4%)
からかわれて終わった	37 (6.1%)	37 (6.0%)	16 (7.2%)
あなたが悪いと責められて終わった	22 (3.6%)	25 (4.1%)	12 (5.4%)
自分が悪い、自分の責任だと思った	63 (10.4%)	41 (6.7%)	22 (9.9%)
加害者が処罰されそうだと思った	9 (1.5%)	10 (1.6%)	7 (3.2%)
相談したら、加害者からの報復があると思った	59 (9.7%)	67 (10.9%)	17 (7.7%)
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	67 (11.0%)	64 (10.4%)	16 (7.2%)
周囲の目が気になった	51 (8.4%)	40 (6.5%)	17 (7.7%)
費用が高かった （弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	9 (1.5%)	8 (1.3%)	11 (5.0%)
手続きが大変だった	13 (2.1%)	11 (1.8%)	11 (5.0%)
その他	140 (23.1%)	171 (27.9%)	43 (19.4%)
度数	607	614	222

	Q18．相談しなかった・解決しなかった理由		
	F. 監視を告げられる	H. GPS等の設置	I. 探偵等身辺調査
対策が上手くいかなかった	23 (13.9%)	11 (18.6%)	11 (12.5%)
被害が軽微であると断られた	10 (6.0%)	2 (3.4%)	3 (3.4%)
管轄外であると断られた	10 (6.0%)	3 (5.1%)	4 (4.5%)
からかわれて終わった	14 (8.4%)	10 (16.9%)	6 (6.8%)
あなたが悪いと責められて終わった	10 (6.0%)	8 (13.6%)	9 (10.2%)
自分が悪い、自分の責任だと思った	18 (10.8%)	4 (6.8%)	16 (18.2%)
加害者が処罰されそうだと思った	9 (5.4%)	4 (6.8%)	3 (3.4%)
相談したら、加害者からの報復があると思った	15 (9.0%)	5 (8.5%)	8 (9.1%)
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	15 (9.0%)	8 (13.6%)	6 (6.8%)
周囲の目が気になった	6 (3.6%)	1 (1.7%)	3 (3.4%)
費用が高かった （弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	6 (3.6%)	－ (－)	7 (8.0%)
手続きが大変だった	5 (3.0%)	2 (3.4%)	2 (2.3%)
その他	25 (15.1%)	1 (1.7%)	10 (11.4%)
度数	166	59	88

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

	Q18．相談しなかった・解決しなかった理由		
	J．乱暴な言動	K. 電話･メール等	L. SNS上メッセージ
対策が上手くいかなかった	73 (15.6%)	48 (15.6%)	37 (16.1%)
被害が軽微であると断られた	20 (4.3%)	24 (7.8%)	12 (5.2%)
管轄外であると断られた	12 (2.6%)	13 (4.2%)	8 (3.5%)
からかわれて終わった	24 (5.1%)	17 (5.5%)	15 (6.5%)
あなたが悪いと責められて終わった	46 (9.8%)	15 (4.9%)	10 (4.3%)
自分が悪い、自分の責任だと思った	43 (9.2%)	22 (7.1%)	20 (8.7%)
加害者が処罰されそうだと思った	8 (1.7%)	3 (1.0%)	6 (2.6%)
相談したら、加害者からの報復があると思った	59 (12.6%)	34 (11.0%)	15 (6.5%)
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	62 (13.2%)	32 (10.4%)	26 (11.3%)
周囲の目が気になった	21 (4.5%)	11 (3.6%)	16 (7.0%)
費用が高かった （弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	12 (2.6%)	9 (2.9%)	4 (1.7%)
手続きが大変だった	10 (2.1%)	14 (4.5%)	15 (6.5%)
その他	78 (16.7%)	66 (21.4%)	46 (20.0%)
度数	468	308	230

	Q18．相談しなかった・解決しなかった理由		
	M. SNS上コメント	N. 手紙･贈り物送付	O. 汚物等の送付
対策が上手くいかなかった	29 (13.4%)	50 (14.9%)	4 (9.3%)
被害が軽微であると断られた	7 (3.2%)	17 (5.1%)	2 (4.7%)
管轄外であると断られた	9 (4.2%)	8 (2.4%)	－ (－)
からかわれて終わった	10 (4.6%)	26 (7.7%)	4 (9.3%)
あなたが悪いと責められて終わった	13 (6.0%)	12 (3.6%)	8 (18.6%)
自分が悪い、自分の責任だと思った	15 (6.9%)	23 (6.8%)	3 (7.0%)
加害者が処罰されそうだと思った	7 (3.2%)	8 (2.4%)	5 (11.6%)
相談したら、加害者からの報復があると思った	17 (7.9%)	29 (8.6%)	5 (11.6%)
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	27 (12.5%)	45 (13.4%)	3 (7.0%)
周囲の目が気になった	6 (2.8%)	26 (7.7%)	5 (11.6%)
費用が高かった （弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	5 (2.3%)	3 (0.9%)	1 (2.3%)
手続きが大変だった	15 (6.9%)	7 (2.1%)	1 (2.3%)
その他	56 (25.9%)	82 (24.4%)	2 (4.7%)
度数	216	336	43

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

	Q18．相談しなかった・解決しなかった理由		
	P．名誉を害する行為	Q．性的羞恥心の侵害	－
対策が上手くいかなかった	45 (14.2%)	16 (13.2%)	－ (－)
被害が軽微であると断られた	20 (6.3%)	8 (6.6%)	－ (－)
管轄外であると断られた	12 (3.8%)	8 (6.6%)	－ (－)
からかわれて終わった	22 (6.9%)	9 (7.4%)	－ (－)
あなたが悪いと責められて終わった	25 (7.9%)	5 (4.1%)	－ (－)
自分が悪い、自分の責任だと思った	28 (8.8%)	8 (6.6%)	－ (－)
加害者が処罰されそうだと思った	10 (3.1%)	4 (3.3%)	－ (－)
相談したら、加害者からの報復があると思った	31 (9.7%)	11 (9.1%)	－ (－)
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	41 (12.9%)	16 (13.2%)	－ (－)
周囲の目が気になった	13 (4.1%)	14 (11.6%)	－ (－)
費用が高かった （弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	8 (2.5%)	3 (2.5%)	－ (－)
手続きが大変だった	9 (2.8%)	3 (2.5%)	－ (－)
その他	54 (17.0%)	16 (13.2%)	－ (－)
度数	318	121	

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

表 14. 男女別・年代別の被害項目ごとの相談しなかった・解決しなかった理由

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
A. 面会の要求	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	28	66	24	22	24	24
	12.9%	16.9%	17.0%	14.0%	14.5%	16.7%
被害が軽微であると断られた	14	19	4	16	9	4
	6.5%	4.9%	2.8%	10.2%	5.5%	2.8%
管轄外であると断られた	7	3	2	1	4	3
	3.2%	0.8%	1.4%	0.6%	2.4%	2.1%
からかわれて終わった	12	25	13	13	5	6
	5.5%	6.4%	9.2%	8.3%	3.0%	4.2%
あなたが悪いと責められて終わった	7	15	5	6	5	6
	3.2%	3.8%	3.5%	3.8%	3.0%	4.2%
自分が悪い、自分の責任だと思った	23	40	10	18	21	14
	10.6%	10.3%	7.1%	11.5%	12.7%	9.7%
加害者が処罰されそうだと思った	5	4	4	2	2	1
	2.3%	1.0%	2.8%	1.3%	1.2%	0.7%
相談したら、加害者からの報復があると思った	18	41	13	16	18	12
	8.3%	10.5%	9.2%	10.2%	10.9%	8.3%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	28	39	15	15	20	17
	12.9%	10.0%	10.6%	9.6%	12.1%	11.8%
周囲の目が気になった	21	30	14	17	14	6
	9.7%	7.7%	9.9%	10.8%	8.5%	4.2%
費用が高かった	9	0	1	3	2	3
（弁護士や探偵にかかるお金・診療料金など）	4.1%	0.0%	0.7%	1.9%	1.2%	2.1%
手続きが大変だった	3	10	4	2	4	3
	1.4%	2.6%	2.8%	1.3%	2.4%	2.1%
その他	42	98	32	26	37	45
	19.4%	25.1%	22.7%	16.6%	22.4%	31.3%
度数	217	390	141	157	165	144

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
B．つきまとい等	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	29	57	17	22	22	25
	13.9%	14.0%	13.1%	15.3%	11.6%	16.6%
被害が軽微であると断られた	15	25	7	14	8	11
	7.2%	6.2%	5.4%	9.7%	4.2%	7.3%
管轄外であると断られた	8	6	3	3	5	3
	3.8%	1.5%	2.3%	2.1%	2.6%	2.0%
からかわれて終わった	14	23	11	11	5	10
	6.7%	5.7%	8.5%	7.6%	2.6%	6.6%
あなたが悪いと責められて終わった	11	14	3	8	10	4
	5.3%	3.4%	2.3%	5.6%	5.3%	2.6%
自分が悪い、自分の責任だと思った	16	25	7	11	14	9
	7.7%	6.2%	5.4%	7.6%	7.4%	6.0%
加害者が処罰されそうだと思った	8	2	5	2	3	0
	3.8%	0.5%	3.8%	1.4%	1.6%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	18	49	16	15	25	11
	8.7%	12.1%	12.3%	10.4%	13.2%	7.3%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	24	40	12	17	17	18
	11.5%	9.9%	9.2%	11.8%	9.0%	11.9%
周囲の目が気になった	13	27	9	11	13	7
	6.3%	6.7%	6.9%	7.6%	6.9%	4.6%
費用が高かった	6	2	2	4	1	1
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	2.9%	0.5%	1.5%	2.8%	0.5%	0.7%
手続きが大変だった	3	8	3	1	6	1
	1.4%	2.0%	2.3%	0.7%	3.2%	0.7%
その他	43	128	35	25	60	51
	20.7%	31.5%	26.9%	17.4%	31.7%	33.8%
度数	208	406	130	144	189	151

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
D. ネット個人情報	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	256	608	7	8	5	6
	35.9%	54.9%	9.1%	17.0%	10.0%	12.5%
被害が軽微であると断られた	154	394	2	7	2	1
	21.6%	35.6%	2.6%	14.9%	4.0%	2.1%
管轄外であると断られた	155	256	3	1	5	3
	21.7%	23.1%	3.9%	2.1%	10.0%	6.3%
からかわれて終わった	11	11	4	7	7	4
	1.5%	1.0%	1.0%	1.6%	1.3%	0.9%
あなたが悪いと責められて終わった	5	9	2	3	3	4
	0.7%	0.8%	2.6%	6.4%	6.0%	8.3%
自分が悪い、自分の責任だと思った	72	133	10	5	4	3
	10.1%	12.0%	13.0%	10.6%	8.0%	6.3%
加害者が処罰されそうだと思った	18	15	5	2	0	0
	2.5%	1.4%	6.5%	4.3%	0.0%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	28	25	7	0	7	3
	3.9%	2.3%	9.1%	0.0%	14.0%	6.3%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	4	8	8	3	0	5
	0.6%	0.7%	10.4%	6.4%	0.0%	10.4%
周囲の目が気になった	19	22	8	2	5	2
	2.7%	2.0%	10.4%	4.3%	10.0%	4.2%
費用が高かった	20	26	2	3	5	1
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	2.8%	2.3%	2.6%	6.4%	10.0%	2.1%
手続きが大変だった	17	26	4	2	2	3
	2.4%	2.3%	5.2%	4.3%	4.0%	6.3%
その他	6	10	11	6	11	15
	0.8%	0.9%	14.3%	12.8%	22.0%	31.3%
度数	714	1107	77	47	50	48

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
F．監視を告げられる	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	28	66	8	4	6	5
	12.9%	16.9%	16.0%	12.5%	14.6%	11.6%
被害が軽微であると断られた	14	19	1	3	2	4
	6.5%	4.9%	2.0%	9.4%	4.9%	9.3%
管轄外であると断られた	7	3	1	4	2	3
	3.2%	0.8%	2.0%	12.5%	4.9%	7.0%
からかわれて終わった	12	25	4	4	3	3
	5.5%	6.4%	8.0%	12.5%	7.3%	7.0%
あなたが悪いと責められて終わった	7	15	3	1	4	2
	3.2%	3.8%	6.0%	3.1%	9.8%	4.7%
自分が悪い、自分の責任だと思った	23	40	7	2	3	6
	10.6%	10.3%	14.0%	6.3%	7.3%	14.0%
加害者が処罰されそうだと思った	5	4	6	2	1	0
	2.3%	1.0%	12.0%	6.3%	2.4%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	18	41	7	2	5	1
	8.3%	10.5%	14.0%	6.3%	12.2%	2.3%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	28	39	3	3	2	7
	12.9%	10.0%	6.0%	9.4%	4.9%	16.3%
周囲の目が気になった	21	30	2	2	1	1
	9.7%	7.7%	4.0%	6.3%	2.4%	2.3%
費用が高かった	9	0	0	2	2	2
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	4.1%	0.0%	0.0%	6.3%	4.9%	4.7%
手続きが大変だった	3	10	3	0	1	1
	1.4%	2.6%	6.0%	0.0%	2.4%	2.3%
その他	42	98	5	3	9	8
	19.4%	25.1%	10.0%	9.4%	22.0%	18.6%
度数	217	390	50	32	41	43

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
H. GPS等の設置	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	6	5	4	1	2	4
	15.8%	23.8%	17.4%	5.9%	18.2%	50.0%
被害が軽微であると断られた	2	0	0	1	0	1
	5.3%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	12.5%
管轄外であると断られた	2	1	2	1	0	0
	5.3%	4.8%	8.7%	5.9%	18.2%	0.0%
からかわれて終わった	7	3	5	4	1	0
	18.4%	14.3%	21.7%	23.5%	9.1%	0.0%
あなたが悪いと責められて終わった	4	4	2	4	1	1
	10.5%	19.0%	8.7%	23.5%	9.1%	12.5%
自分が悪い、自分の責任だと思った	3	1	1	1	2	0
	7.9%	4.8%	4.3%	5.9%	7.4%	6.0%
加害者が処罰されそうだと思った	3	1	3	0	1	0
	7.90%	4.8%	13.0%	0.0%	9.1%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	4	1	3	1	1	0
	10.5%	4.8%	13.0%	5.9%	9.1%	0.0%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	6	2	2	3	2	1
	15.8%	9.5%	8.7%	17.6%	18.2%	12.5%
周囲の目が気になった	1	0	0	1	0	0
	2.6%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
費用が高かった	0	0	0	0	0	0
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手続きが大変だった	0	2	1	0	0	1
	0.0%	9.5%	4.3%	0.0%	0.0%	12.5%
その他	0	1	0	0	1	0
	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
度数	38	21	23	17	11	8

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
I．探偵等身辺調査	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	6	5	2	2	4	3
	10.3%	16.7%	11.1%	10.5%	20.0%	9.7%
被害が軽微であると断られた	3	0	1	1	0	1
	5.2%	0.0%	5.6%	5.3%	0.0%	3.2%
管轄外であると断られた	2	2	1	2	0	1
	3.4%	6.7%	5.6%	10.5%	0.0%	3.2%
からかわれて終わった	5	1	1	1	3	1
	8.6%	3.3%	5.6%	5.3%	15.0%	3.2%
あなたが悪いと責められて終わった	6	3	4	3	2	0
	10.3%	10.0%	22.2%	15.8%	15.0%	25.8%
自分が悪い、自分の責任だと思った	13	3	2	3	3	8
	22.4%	10.0%	11.1%	15.8%	8.00%	6.30%
加害者が処罰されそうだと思った	2	1	1	2	0	0
	3.4%	3.3%	5.6%	10.5%	0.0%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	6	2	4	1	1	2
	10.3%	6.7%	22.2%	5.3%	5.0%	6.5%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	3	3	1	1	2	2
	5.2%	10.0%	5.6%	5.3%	10.0%	6.5%
周囲の目が気になった	2	1	1	0	2	0
	3.4%	3.3%	5.6%	0.0%	10.0%	0.0%
費用が高かった	7	0	0	1	1	5
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	12.1%	0.0%	0.0%	5.3%	5.0%	16.1%
手続きが大変だった	1	1	0	0	1	1
	1.7%	3.3%	0.0%	0.0%	5.0%	3.2%
その他	2	8	0	2	1	7
	3.4%	26.7%	0.0%	10.5%	5.0%	22.6%
度数	58	30	18	19	20	31

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
J．乱暴な言動	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	39	34	20	13	19	21
	16.7%	14.5%	18.7%	13.4%	14.2%	16.2%
被害が軽微であると断られた	9	11	7	4	5	4
	3.9%	4.7%	6.5%	4.1%	3.7%	3.1%
管轄外であると断られた	8	4	3	2	3	4
	3.4%	1.7%	2.8%	2.1%	2.2%	3.1%
からかわれて終わった	14	10	6	8	4	6
	6.0%	4.3%	5.6%	8.2%	3.0%	4.6%
あなたが悪いと責められて終わった	21	25	11	14	12	9
	9.0%	10.6%	10.3%	14.4%	9.0%	6.9%
自分が悪い、自分の責任だと思った	22	21	12	10	10	11
	9.4%	8.9%	11.2%	10.3%	7.5%	8.5%
加害者が処罰されそうだと思った	5	3	1	2	3	2
	2.1%	1.3%	0.9%	2.1%	2.2%	1.5%
相談したら、加害者からの報復があると思った	26	33	14	12	21	12
	11.2%	14.0%	13.1%	12.4%	15.7%	9.2%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	32	30	18	9	17	18
	13.7%	12.8%	16.8%	9.3%	12.7%	13.8%
周囲の目が気になった	13	8	2	8	6	5
	5.6%	3.4%	1.9%	8.2%	4.5%	3.8%
費用が高かった	8	4	0	3	4	5
（弁護士や探偵にかかるお金・診療料金など）	3.4%	1.7%	0.0%	3.1%	3.0%	3.8%
手続きが大変だった	4	6	3	0	2	5
	1.7%	2.6%	2.8%	0.0%	1.5%	3.8%
その他	32	46	10	12	28	28
	13.7%	19.6%	9.3%	12.4%	20.9%	21.5%
度数	233	235	107	97	134	130

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
K. 電話・メール等	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	13	35	13	11	10	14
	9.6%	20.2%	19.4%	18.6%	11.1%	15.2%
被害が軽微であると断られた	12	12	3	5	7	9
	8.9%	6.9%	4.5%	8.5%	7.8%	9.8%
管轄外であると断られた	9	4	3	3	1	6
	6.7%	2.3%	4.5%	5.1%	1.1%	6.5%
からかわれて終わった	9	8	5	4	5	3
	6.7%	5.7%	7.5%	6.8%	5.6%	3.3%
あなたが悪いと責められて終わった	9	6	4	4	5	2
	6.7%	3.5%	6.0%	6.8%	5.6%	2.2%
自分が悪い、自分の責任だと思った	11	11	6	7	5	4
	8.1%	6.4%	9.0%	11.9%	5.6%	4.3%
加害者が処罰されそうだと思った	3	0	1	0	1	1
	2.2%	0.0%	1.5%	0.0%	1.1%	1.1%
相談したら、加害者からの報復があると思った	14	20	9	5	12	8
	10.4%	11.6%	13.4%	8.5%	13.3%	8.7%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	14	18	7	6	7	12
	10.4%	10.4%	10.4%	10.2%	7.8%	13.0%
周囲の目が気になった	4	7	4	3	3	1
	3.0%	4.0%	6.0%	5.1%	3.3%	1.1%
費用が高かった	6	3	0	3	3	3
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	4.4%	1.7%	0.0%	5.1%	3.3%	3.3%
手続きが大変だった	3	11	6	1	4	3
	2.2%	6.4%	9.0%	1.7%	4.4%	3.3%
その他	28	38	6	7	27	26
	20.7%	22.0%	9.0%	11.9%	30.0%	28.3%
度数	135	173	67	59	90	92

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
L．SNS上メッセージ	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	14	23	12	9	9	7
	12.0%	20.4%	12.9%	14.8%	22.0%	20.0%
被害が軽微であると断られた	6	6	2	4	2	4
	5.1%	5.3%	2.2%	6.6%	4.9%	11.4%
管轄外であると断られた	5	3	2	3	0	3
	4.3%	2.7%	2.2%	4.9%	0.0%	8.6%
からかわれて終わった	10	5	8	4	3	0
	8.5%	4.4%	8.6%	6.6%	7.3%	0.0%
あなたが悪いと責められて終わった	7	3	3	4	2	1
	6.0%	2.7%	3.2%	6.6%	4.9%	2.9%
自分が悪い、自分の責任だと思った	11	9	9	7	3	1
	9.4%	8.0%	9.7%	11.5%	7.3%	2.9%
加害者が処罰されそうだと思った	6	0	2	2	2	0
	5.1%	0.0%	2.2%	3.3%	4.9%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	7	8	8	3	3	1
	6.0%	7.1%	8.6%	4.9%	7.3%	2.9%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	10	16	11	7	2	6
	8.5%	14.2%	11.8%	11.5%	4.9%	17.1%
周囲の目が気になった	8	8	8	6	2	0
	6.8%	7.1%	8.6%	9.8%	4.9%	0.0%
費用が高かった	3	1	1	1	2	0
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	2.6%	0.9%	1.1%	1.6%	4.9%	0.0%
手続きが大変だった	8	7	5	4	2	4
	6.8%	6.2%	5.4%	6.6%	4.9%	11.4%
その他	22	24	22	7	9	8
	18.8%	21.2%	23.7%	11.5%	22.0%	22.9%
度数	117	113	93	61	41	35

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
M．SNS上コメント	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	18	11	7	8	8	6
	14.8%	11.7%	8.9%	16.7%	15.7%	15.8%
被害が軽微であると断られた	4	3	1	3	2	1
	3.3%	3.2%	1.3%	6.3%	3.9%	2.6%
管轄外であると断られた	6	3	2	2	1	4
	4.9%	3.2%	2.5%	4.2%	2.0%	10.5%
からかわれて終わった	7	3	5	0	5	0
	5.7%	3.2%	6.3%	0.0%	9.8%	0.0%
あなたが悪いと責められて終わった	8	5	4	5	3	1
	6.6%	5.3%	5.1%	10.4%	5.9%	2.6%
自分が悪い、自分の責任だと思った	9	6	7	5	3	0
	7.4%	6.4%	8.9%	10.4%	5.9%	0.0%
加害者が処罰されそうだと思った	4	3	6	1	0	0
	3.3%	3.2%	7.6%	2.1%	0.0%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	9	8	10	2	2	3
	7.4%	8.5%	12.7%	4.2%	3.9%	7.9%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	13	14	10	6	4	7
	10.7%	14.9%	12.7%	12.5%	7.8%	18.4%
周囲の目が気になった	2	4	3	2	1	0
	1.6%	4.3%	3.8%	4.2%	2.0%	0.0%
費用が高かった	3	2	1	1	2	1
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	2.5%	2.1%	1.3%	2.1%	3.9%	2.6%
手続きが大変だった	10	5	6	4	2	3
	8.2%	5.3%	7.6%	8.3%	3.9%	7.9%
その他	29	27	17	9	18	12
	23.8%	28.7%	21.5%	18.8%	35.3%	31.6%
度数	122	94	79	48	51	38

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
N. 手紙・贈り物送付	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	14	36	11	4	12	23
	11.2%	17.1%	17.5%	7.5%	11.2%	20.4%
被害が軽微であると断られた	11	6	2	6	5	4
	8.8%	2.8%	3.2%	11.3%	4.7%	3.5%
管轄外であると断られた	6	2	0	3	4	1
	2.8%	0.9%	0.0%	5.7%	3.7%	0.9%
からかわれて終わった	8	18	9	5	6	6
	6.4%	8.5%	14.3%	9.4%	5.6%	5.3%
あなたが悪いと責められて終わった	3	9	0	3	5	4
	2.4%	4.3%	0.0%	5.7%	4.7%	3.5%
自分が悪い、自分の責任だと思った	12	11	6	4	8	5
	9.6%	5.2%	9.5%	7.5%	7.5%	4.4%
加害者が処罰されそうだと思った	7	1	3	2	3	0
	5.6%	0.5%	4.8%	3.8%	2.8%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	11	18	7	3	13	6
	8.8%	8.5%	11.1%	5.7%	12.1%	5.3%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	18	27	9	8	14	14
	14.4%	12.8%	14.3%	15.1%	13.1%	12.4%
周囲の目が気になった	10	16	6	6	9	5
	8.0%	7.6%	9.5%	11.3%	8.4%	4.4%
費用が高かった	3	0	0	1	1	1
（弁護士や探偵にかかるお金・診療料金など）	2.4%	0.0%	0.0%	1.9%	0.9%	0.9%
手続きが大変だった	3	4	2	0	1	4
	2.4%	1.9%	3.2%	0.0%	0.9%	3.5%
その他	19	63	8	8	26	40
	15.2%	29.9%	12.7%	15.1%	24.3%	35.4%
度数	125	211	63	53	107	113

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

Q18. 相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
O. 汚物等の送付	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	3	1	1	0	2	1
	13.0%	5.0%	5.9%	0.0%	25.0%	12.5%
被害が軽微であると断られた	1	1	0	0	1	1
	4.3%	5.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
管轄外であると断られた	2	2	0	0	0	0
	8.7%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
からかわれて終わった	3	5	2	1	1	0
	13.0%	25.0%	11.8%	10.0%	12.5%	0.0%
あなたが悪いと責められて終わった	6	3	4	2	1	1
	10.3%	10.0%	23.5%	20.0%	12.5%	12.5%
自分が悪い、自分の責任だと思った	1	2	1	1	0	1
	4.3%	10.0%	5.9%	10.0%	0.0%	12.5%
加害者が処罰されそうだと思った	4	1	3	1	1	0
	17.4%	5.0%	17.6%	10.0%	12.5%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	2	3	4	1	0	0
	8.7%	15.0%	23.5%	10.0%	0.0%	0.0%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	2	1	0	2	1	0
	8.7%	5.0%	0.0%	20.0%	12.5%	0.0%
周囲の目が気になった	3	2	1	2	0	2
	13.0%	10.0%	5.9%	20.0%	0.0%	25.0%
費用が高かった	0	1	1	0	0	0
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	0.0%	5.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
手続きが大変だった	1	0	0	0	1	0
	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
その他	1	1	0	0	0	2
	4.3%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
度数	23	20	17	10	8	8

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
P．名誉を害する行為	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	25	20	13	6	11	15
	13.5%	15.0%	17.3%	10.3%	11.7%	16.5%
被害が軽微であると断られた	11	9	3	5	6	6
	5.9%	6.8%	4.0%	8.6%	6.4%	6.6%
管轄外であると断られた	8	4	1	2	3	6
	4.3%	3.0%	1.3%	3.4%	3.2%	6.6%
からかわれて終わった	13	9	3	8	5	6
	7.0%	6.8%	4.0%	13.8%	5.3%	6.6%
あなたが悪いと責められて終わった	14	11	5	8	4	8
	7.6%	8.3%	6.7%	13.8%	4.3%	8.8%
自分が悪い、自分の責任だと思った	13	15	12	6	5	5
	7.0%	11.3%	16.0%	10.3%	5.3%	5.5%
加害者が処罰されそうだと思った	6	4	6	2	1	1
	3.2%	3.0%	8.0%	3.4%	1.1%	1.1%
相談したら、加害者からの報復があると思った	17	14	7	3	14	7
	9.2%	10.5%	9.3%	5.2%	14.9%	7.7%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	25	16	6	7	16	12
	13.5%	12.0%	8.0%	12.1%	17.0%	13.2%
周囲の目が気になった	7	6	7	4	1	1
	3.8%	4.5%	9.3%	6.9%	1.1%	1.1%
費用が高かった	3	5	1	2	2	3
（弁護士や探偵にかかるお金･診療料金など）	1.6%	3.8%	1.3%	3.4%	2.1%	3.3%
手続きが大変だった	4	5	2	0	2	5
	2.2%	3.8%	2.7%	0.0%	2.1%	5.5%
その他	39	15	9	5	24	16
	21.1%	11.3%	12.0%	8.6%	25.5%	17.6%
度数	185	133	75	58	94	91

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合．

Q18．相談しなかった・解決しなかった理由	性別		年代			
Q. 性的羞恥心の侵害	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
対策が上手くいかなかった	7	9	7	3	2	4
	15.9%	11.7%	15.9%	10.3%	8.0%	17.4%
被害が軽微であると断られた	6	2	0	2	3	3
	13.6%	2.6%	0.0%	6.9%	12.0%	13.0%
管轄外であると断られた	6	2	2	1	2	3
	13.6%	2.6%	4.5%	3.4%	8.0%	13.0%
からかわれて終わった	3	6	5	1	1	2
	6.8%	7.8%	11.4%	3.4%	3.4%	8.7%
あなたが悪いと責められて終わった	2	3	1	3	1	0
	4.5%	3.9%	2.3%	10.3%	4.0%	0.0%
自分が悪い、自分の責任だと思った	1	7	1	1	4	2
	2.3%	9.1%	2.3%	3.4%	16.0%	8.7%
加害者が処罰されそうだと思った	3	1	4	0	0	0
	6.8%	1.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
相談したら、加害者からの報復があると思った	3	8	6	1	3	1
	6.8%	10.4%	13.6%	3.4%	12.0%	4.3%
誰も相談に乗ってくれないだろうと思った	4	12	6	5	4	1
	9.1%	15.6%	13.6%	17.2%	16.0%	4.3%
周囲の目が気になった	1	13	7	6	1	0
	2.3%	16.9%	15.9%	20.7%	4.0%	0.0%
費用が高かった	2	1	0	2	0	1
（弁護士や探偵にかかるお金・診療料金など）	4.5%	1.3%	0.0%	6.9%	0.0%	4.3%
手続きが大変だった	2	1	1	1	0	1
	4.5%	1.3%	2.3%	3.4%	0.0%	4.3%
その他	4	12	4	3	4	5
	9.1%	15.6%	9.1%	10.3%	16.0%	21.7%
度数	44	77	44	29	25	23

丸括弧内は，相談を検討していない・諦めた・相談したが解決しなかった者の内，当該理由を挙げた者の割合.

表 15. 被害項目ごとの被害が止んだ契機

	Q19．被害が止んだ契機		
	A. 面会の要求	B. つきまとい等	H. GPS等の設置
当人同士の話し合いによる解決	206 (21.4%)	133 (14.2%)	14 (15.9%)
自分の友人や家族による介入	117 (12.2%)	103 (11.0%)	12 (13.6%)
加害者側の関係者による介入	39 (4.1%)	37 (3.9%)	8 (9.1%)
上司や会社による介入	72 (7.5%)	76 (8.1%)	12 (13.6%)
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	24 (2.5%)	22 (2.3%)	11 (12.5%)
警察などによる介入	56 (5.8%)	87 (9.3%)	11 (12.5%)
転職や引っ越し	135 (14.0%)	156 (16.6%)	5 (5.7%)
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	333 (34.7%)	334 (35.6%)	15 (17.0%)
現在も継続している	23 (2.4%)	33 (3.5%)	10 (11.4%)
その他	79 (8.2%)	76 (8.1%)	2 (2.3%)
度数	961	939	88

	Q19．被害が止んだ契機		
	I. 探偵等身辺調査	L. SNS上メッセージ	M. SNS上コメント
当人同士の話し合いによる解決	21 (16.7%)	32 (10.4%)	27 (9.6%)
自分の友人や家族による介入	13 (10.3%)	22 (7.1%)	18 (6.4%)
加害者側の関係者による介入	6 (4.8%)	17 (5.5%)	11 (3.9%)
上司や会社による介入	10 (7.9%)	19 (6.2%)	14 (5.0%)
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	16 (12.7%)	20 (6.5%)	19 (6.8%)
警察などによる介入	10 (7.9%)	18 (5.8%)	17 (6.0%)
転職や引っ越し	6 (4.8%)	23 (7.5%)	14 (5.0%)
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	43 (34.1%)	121 (39.3%)	115 (40.9%)
現在も継続している	10 (7.9%)	26 (8.4%)	25 (8.9%)
その他	4 (3.2%)	43 (14.0%)	40 (14.2%)
度数	126	308	281

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合.

表 16. 男女別・年代別の被害が止んだ契機

Q19．被害が止んだ契機	性別		年代			
A. 面会の要求	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
当人同士の話し合いによる解決	72	134	46	46	62	52
	22.2%	21.1%	21.4%	18.9%	21.8%	23.9%
自分の友人や家族による介入	28	89	19	30	37	31
	8.6%	14.0%	8.8%	12.3%	13.0%	14.2%
加害者側の関係者による介入	16	23	8	8	17	6
	4.9%	3.6%	3.7%	3.3%	6.0%	2.8%
上司や会社による介入	20	52	15	22	25	10
	6.2%	8.2%	7.0%	9.1%	8.8%	4.6%
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	15	9	10	5	6	3
	4.6%	1.4%	4.7%	2.1%	2.1%	1.4%
警察などによる介入	20	36	16	11	25	4
	6.2%	5.7%	7.4%	4.5%	8.8%	1.8%
転職や引っ越し	34	101	29	34	38	34
	10.5%	15.9%	13.5%	14.0%	13.3%	15.6%
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	121	212	76	84	91	82
	37.2%	33.3%	35.3%	34.6%	31.9%	37.6%
現在も継続している	9	14	4	4	10	5
	2.8%	2.2%	1.9%	1.6%	3.5%	2.3%
その他	25	54	21	22	20	16
	7.7%	8.5%	9.8%	9.1%	7.0%	7.3%
度数	325	636	215	243	285	218

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合.

Q19．被害が止んだ契機	性別		年代			
B．つきまとい等	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
当人同士の話し合いによる解決	43	90	28	27	43	35
	14.7%	13.9%	14.1%	12.2%	14.6%	15.6%
自分の友人や家族による介入	26	77	16	28	30	29
	8.9%	11.9%	8.0%	12.6%	10.2%	12.9%
加害者側の関係者による介入	18	19	9	10	12	6
	6.1%	2.9%	4.5%	4.5%	4.1%	2.7%
上司や会社による介入	23	53	16	21	25	14
	7.8%	8.2%	8.0%	9.5%	8.5%	6.3%
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	18	4	10	3	6	3
	6.1%	0.6%	5.0%	1.4%	2.0%	1.3%
警察などによる介入	31	56	21	19	33	14
	10.6%	10.3%	10.6%	8.6%	11.2%	6.3%
転職や引っ越し	31	125	35	37	45	39
	10.6%	19.3%	17.6%	16.7%	15.3%	17.4%
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	97	237	72	86	95	81
	33.1%	36.7%	36.2%	38.7%	32.3%	36.2%
現在も継続している	16	17	4	4	16	9
	5.5%	2.6%	2.0%	1.8%	5.4%	4.0%
その他	26	50	14	13	25	24
	8.9%	7.7%	7.0%	5.9%	8.5%	10.7%
度数	293	646	199	222	294	224

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合．

Q19．被害が止んだ契機	性別		年代			
H．GPS等の設置	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
当人同士の話し合いによる解決	10	4	6	3	5	0
	16.7%	14.3%	17.1%	12.5%	26.3%	0.0%
自分の友人や家族による介入	8	4	5	1	3	3
	13.3%	14.3%	14.3%	4.2%	15.8%	30.0%
加害者側の関係者による介入	6	2	3	2	1	2
	10.0%	7.1%	8.6%	8.3%	5.3%	20.0%
上司や会社による介入	8	4	5	5	2	0
	13.3%	14.3%	14.3%	20.8%	10.5%	0.0%
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	9	2	7	2	1	1
	15.0%	7.1%	20.0%	8.3%	5.3%	10.0%
警察などによる介入	6	5	7	1	2	1
	10.0%	17.9%	20.0%	4.2%	10.5%	10.0%
転職や引っ越し	2	3	2	1	2	0
	3.3%	10.7%	5.7%	4.2%	10.5%	0.0%
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	10	5	4	7	3	1
	16.7%	17.9%	11.4%	29.2%	15.8%	10.0%
現在も継続している	7	3	1	2	4	3
	11.7%	10.7%	2.9%	8.3%	21.1%	30.0%
その他	1	1	2	0	0	0
	1.7%	3.6%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
度数	60	28	35	24	19	10

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合．

Q19．被害が止んだ契機	性別		年代			
I．探偵等身辺調査	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
当人同士の話し合いによる解決	15	6	5	4	4	8
	19.0%	12.8%	17.2%	16.7%	12.1%	20.0%
自分の友人や家族による介入	8	5	3	2	4	4
	10.1%	10.6%	10.3%	8.3%	12.1%	10.0%
加害者側の関係者による介入	5	1	1	0	2	3
	6.3%	2.1%	3.4%	0.0%	6.1%	7.5%
上司や会社による介入	8	2	5	2	1	2
	10.1%	4.3%	17.2%	8.3%	3.0%	5.0%
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	10	6	8	3	3	2
	12.7%	12.8%	27.6%	12.5%	9.1%	5.0%
警察などによる介入	5	5	3	2	3	2
	6.3%	10.6%	10.3%	8.3%	9.1%	9.7%
転職や引っ越し	3	3	3	1	2	0
	3.8%	6.4%	10.3%	4.2%	6.1%	0.0%
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	25	18	3	10	10	20
	31.6%	38.3%	10.3%	41.7%	30.3%	50.0%
現在も継続している	6	4	2	0	7	1
	7.6%	8.5%	6.9%	0.0%	21.2%	2.5%
その他	3	1	1	0	1	2
	3.8%	2.1%	3.4%	0.0%	3.0%	5.0%
度数	79	47	29	24	33	40

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合．

Q19．被害が止んだ契機	性別		年代			
L．SNS上メッセージ	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
当人同士の話し合いによる解決	16	16	13	10	6	3
	10.5%	10.3%	10.7%	13.0%	9.7%	6.3%
自分の友人や家族による介入	6	16	11	4	2	5
	3.9%	10.3%	9.1%	5.2%	3.2%	10.4%
加害者側の関係者による介入	11	6	11	2	3	1
	7.2%	3.8%	9.1%	2.6%	4.8%	2.1%
上司や会社による介入	12	7	10	4	3	2
	7.9%	4.5%	8.3%	5.2%	4.8%	4.2%
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	16	4	9	3	6	2
	10.5%	2.6%	7.4%	3.9%	9.7%	4.2%
警察などによる介入	13	5	7	4	5	2
	8.6%	3.2%	5.8%	5.2%	8.1%	4.2%
転職や引っ越し	12	11	13	4	6	0
	7.9%	7.1%	10.7%	5.2%	9.7%	0.0%
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	53	68	47	33	20	21
	34.9%	43.6%	38.8%	42.9%	32.3%	43.8%
現在も継続している	11	15	6	5	8	7
	7.2%	9.6%	5.0%	6.5%	12.9%	14.6%
その他	20	23	17	11	7	8
	13.2%	14.7%	14.0%	14.3%	11.3%	16.7%
度数	152	156	121	77	62	48

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合．

Q19．被害が止んだ契機	性別		年代			
M．SNS上コメント	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
当人同士の話し合いによる解決	16	11	12	9	5	1
	10.3%	8.7%	12.1%	14.3%	7.4%	2.0%
自分の友人や家族による介入	11	7	6	3	4	5
	7.1%	5.6%	6.1%	4.8%	5.9%	9.8%
加害者側の関係者による介入	8	3	7	1	2	1
	5.2%	2.4%	7.1%	1.6%	2.9%	2.0%
上司や会社による介入	7	7	9	3	1	1
	4.5%	5.6%	9.1%	4.8%	1.5%	2.0%
探偵や弁護士、NPOなど民間の専門家による介入	17	2	8	6	4	1
	11.0%	1.6%	8.1%	9.5%	5.9%	2.0%
警察などによる介入	10	7	6	5	4	2
	6.5%	5.6%	6.1%	7.9%	5.9%	3.9%
転職や引っ越し	4	10	4	1	8	1
	2.6%	7.9%	4.0%	1.6%	11.8%	2.0%
よくわからないが、時間とともに自然に止んだ	59	56	37	28	25	25
	38.1%	44.4%	37.4%	44.4%	36.8%	49.0%
現在も継続している	12	13	5	4	8	8
	7.7%	10.3%	5.1%	6.3%	11.8%	15.7%
その他	23	17	12	9	11	8
	14.8%	13.5%	12.1%	14.3%	16.2%	15.7%
度数	155	126	99	63	68	51

丸括弧内は，それぞれの被害経験者内で当該理由で被害が止んだ者の割合．

表 17. 被害への対応

	Q20．被害への対応
タクシードライバーや同乗者に家の場所を知られたくないために、ちょっと離れたところで降りた	99 (5.4%)
電車で目的地と異なる駅で降りた	138 (7.6%)
その駅の利用を控えるようになった	128 (7.0%)
通勤・通学の時間帯を変更した	157 (8.6%)
転校・転職をした	163 (9.0%)
転校・転職を検討した	97 (5.3%)
職場や学校を休んだ	139 (7.6%)
服装に気を付けるようになった	128 (7.0%)
一人で出歩かないようになった	249 (13.7%)
外出する時間帯を変更した	251 (13.8%)
外出を控えるようになった	234 (12.9%)
鍵を変えた	60 (3.3%)
引越しをした	220 (12.1%)
引越しを検討した	123 (6.8%)
オートロックやカメラ付インターホン、二階以上の物件を意識的に選ぶようになった	62 (3.4%)
SNS上のアカウントを削除した・プライベートモードに変えた	210 (11.5%)
SNS上のアカウントなどをブロックした	364 (20.0%)
電話番号・メールアドレスやアカウント名を変えた	292 (16.0%)
人付き合いを減らした	350 (19.2%)
どんな対応もしていない	137 (7.5%)
その他	137 (7.5%)

N=1821．丸括弧内は，本調査対象者において当該対応を行った者の割合．

「どんな対応もしていない」は，「その他」からアフターコーディングし，独立のカテゴリーとした．

表 18. 男女別・年代別の被害への対応

Q20. 被害への対応	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
タクシードライバーや同乗者に家の場所を知られたくないために、ちょっと離れたところで降りた	27	72	33	19	30	17
	3.8%	6.5%	8.4%	4.4%	5.6%	3.7%
電車で目的地と異なる駅で降りた	44	94	42	25	44	27
	6.2%	8.5%	10.6%	5.8%	8.3%	5.9%
その駅の利用を控えるようになった	41	87	34	24	45	25
	5.7%	7.9%	8.6%	5.5%	8.5%	5.4%
通勤・通学の時間帯を変更した	36	121	34	41	51	31
	5.0%	10.9%	8.6%	9.4%	9.6%	6.7%
転校・転職をした	57	106	35	30	54	44
	8.0%	9.6%	8.9%	6.9%	10.2%	9.5%
転校・転職を検討した	44	53	23	30	21	23
	6.2%	4.8%	5.8%	6.9%	4.0%	5.0%
職場や学校を休んだ	72	67	33	33	46	27
	10.1%	6.1%	8.4%	7.6%	8.7%	5.9%
服装に気を付けるようになった	32	96	30	27	45	26
	4.5%	8.7%	7.6%	6.2%	8.5%	5.6%
一人で出歩かないようになった	42	207	62	71	70	46
	5.9%	18.7%	15.7%	16.4%	13.2%	10.0%
外出する時間帯を変更した	84	167	46	66	76	63
	11.8%	15.1%	11.6%	15.2%	14.3%	13.7%
外出を控えるようになった	78	156	41	59	83	51
	10.9%	14.1%	10.4%	13.6%	15.6%	11.1%
鍵を変えた	27	33	14	7	19	20
	3.8%	3.0%	3.5%	1.6%	3.6%	4.3%
引越しをした	59	161	29	59	74	58
	8.3%	14.5%	7.3%	13.6%	13.9%	12.6%
引越しを検討した	52	71	20	27	41	35
	7.3%	6.4%	5.1%	6.2%	7.7%	7.6%
オートロックやカメラ付インターホン、二階以上の物件を意識的に選ぶようになった	16	46	20	9	20	13
	2.2%	4.2%	5.1%	2.1%	3.8%	2.8%
SNS上のアカウントを削除した・プライベートモードに変えた	99	111	68	59	50	33
	13.9%	10.0%	17.2%	13.6%	9.4%	7.2%
SNS上のアカウントなどをブロックした	159	205	123	111	69	61
	22.3%	18.5%	31.1%	25.6%	13.0%	13.2%
電話番号・メールアドレスやアカウント名を変えた	109	183	54	66	95	77
	15.3%	16.5%	13.7%	15.2%	17.9%	16.7%
人付き合いを減らした	158	192	68	78	116	88
	22.1%	17.3%	17.2%	18.0%	21.8%	19.1%
どんな対応もしていない	68	69	14	23	50	50
	9.5%	6.2%	3.5%	5.3%	9.4%	10.8%
その他	55	82	30	22	35	50
	7.7%	7.4%	7.6%	5.1%	6.6%	10.8%
度数	714	1107	395	434	531	461

丸括弧内は，本調査対象者において当該対応を行った者の割合.「どんな対応もしていない」は，「その他」からアフターコーディングし，独立のカテゴリーとした.

表 19. 望む取り組み

	Q21．望む取り組み
相談先の存在を広く知らせるための広報活動	421 (23.1%)
つきまといが迷惑行為であるという広報活動	585 (32.1%)
警察の相談体制の拡充	707 (38.8%)
NPOなどの相談体制の拡充	274 (15.0%)
電話を用いた相談先の仕組みづくり	290 (15.9%)
インターネット（SNS、ブログ、掲示板等）を用いた相談先の仕組みづくり	435 (23.9%)
加害を繰り返してしまう人が相談できる仕組みづくり	331 (18.2%)
一時避難が可能なシェルターの拡充	311 (17.1%)
引っ越しなど生活再建のための資金援助	340 (18.7%)
迷惑行為と認定されやすくなる法整備	593 (32.6%)
同意のないGPS装置設置や位置情報監視の違法化	256 (14.1%)
探偵などによる身元調査の規制	170 (9.3%)
加害者への刑事罰の強化（厳罰化）	562 (30.9%)
加害者への治療プログラムによるつきまとい感情の解消	243 (13.3%)
出所後の加害者情報を知れる仕組み	289 (15.9%)
治療中の加害者情報を知れる仕組み	212 (11.6%)
ネット上での迷惑行為に対する、SNS企業による自主的な通報・削除対応の強化	492 (27.0%)
ネット上での迷惑行為に対する、SNS企業による、被害減少への取り組みの法的な義務付け	502 (27.6%)
どんな取り組みも望まない	33 (1.8%)
その他	47 (2.6%)

N=1821．丸括弧内は，本調査対象者において当該取り組みを望む者の割合．

「どんな取り組みも望まない」は，「その他」からアフターコーディングし，独立のカテゴリーとした．

表 20. 男女別・年代別の望む取り組み

Q21．望む取り組み	性別		年代			
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59
相談先の存在を広く知らせるための広報活動	141	280	80	117	115	109
	19.7%	25.3%	20.3%	27.0%	21.7%	23.6%
つきまといが迷惑行為であるという広報活動	170	415	117	141	187	140
	23.8%	37.5%	29.6%	32.5%	35.2%	30.4%
警察の相談体制の拡充	239	468	143	152	223	189
	33.5%	42.3%	36.2%	35.0%	42.0%	41.0%
NPOなどの相談体制の拡充	111	163	46	65	81	82
	15.5%	14.7%	11.6%	15.0%	15.3%	17.8%
電話を用いた相談先の仕組みづくり	118	172	50	66	89	85
	16.5%	15.5%	12.7%	15.2%	16.8%	18.4%
インターネット（SNS、ブログ、掲示板等）を用いた相談先の仕組みづくり	163	272	110	109	127	89
	22.8%	24.6%	27.8%	25.1%	23.9%	19.3%
加害を繰り返してしまう人が相談できる仕組みづくり	123	208	65	85	102	79
	17.2%	18.8%	16.5%	19.6%	19.2%	17.1%
一時避難が可能なシェルターの拡充	73	238	60	87	96	68
	10.2%	21.5%	15.2%	20.0%	18.1%	14.8%
引っ越しなど生活再建のための資金援助	95	245	74	89	102	75
	13.3%	22.1%	18.7%	20.5%	19.2%	16.3%
迷惑行為と認定されやすくなる法整備	206	387	96	121	205	171
	28.9%	35.0%	24.3%	27.9%	38.6%	37.1%
同意のないGPS装置設置や位置情報監視の違法化	72	184	59	54	86	57
	10.1%	16.6%	14.9%	12.4%	16.2%	12.4%
探偵などによる身元調査の規制	57	113	37	36	58	39
	8.0%	10.2%	9.4%	8.3%	10.9%	8.5%
加害者への刑事罰の強化（厳罰化）	210	352	80	131	194	157
	29.4%	31.8%	20.3%	30.2%	36.5%	34.1%
加害者への治療プログラムによるつきまとい感情の解消	71	172	41	65	72	65
	9.9%	15.5%	10.4%	15.0%	13.6%	14.1%
出所後の加害者情報を知れる仕組み	88	201	54	65	105	65
	12.3%	18.2%	13.7%	15.0%	19.8%	14.1%
治療中の加害者情報を知れる仕組み	64	148	38	49	75	50
	9.0%	13.4%	9.6%	11.3%	14.1%	10.8%
ネット上での迷惑行為に対する、SNS企業による自主的な通報・削除対応の強化	178	314	117	120	145	110
	24.9%	28.4%	29.6%	27.6%	27.3%	23.9%
ネット上での迷惑行為に対する、SNS企業による、被害減少への取り組みの法的な義務付け	187	315	101	133	159	109
	26.2%	28.5%	25.6%	30.6%	29.9%	23.6%
どんな取り組みも望まない	22	11	7	4	10	12
	3.1%	1.0%	1.8%	0.9%	1.9%	2.6%
その他	21	26	6	5	18	18
	2.9%	2.3%	1.5%	1.2%	3.4%	3.9%
度数	714	1107	395	434	531	461

丸括弧内は，本調査対象者において当該取り組みを望む者の割合．「どんな取り組みも望まない」は，「その他」からアフターコーディングし，独立のカテゴリーとした．